



PROFESSIONAL DIGITAL TWO-WAY RADIO

MOTOTRBO™

XiR E8600/XiR E8600i, XiR E8608/XiR E8608i

NON-KEYPAD PORTABLE RADIO

USER GUIDE

en-US

zh-CN

ja-JP

ko-KR

id-ID



MAY 2022

© 2022 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.



68012009014-DP

This is to declare that MSI products comply with the EU Directive 2011/65/EU (Restriction of Hazardous Substance or RoHS-2) and India RoHS, including applicable exemptions, with respect to the following substances:

Lead (Pb) < 0.1% by weight (1000 ppm)

Mercury (Hg) < 0.1% by weight (1000 ppm)

Cadmium (Cd) < 0.01% by weight (100 ppm)

Hexavalent Chromium (Cr6+) < 0.1% by weight (1000 ppm)

Polybrominated Biphenyls (PBB) < 0.1% by weight (1000 ppm)

Polybrominated Diphenyl Ethers (PBDE) < 0.1% by weight (1000 ppm)

目次

重要な安全情報.....	11
ソフトウェア バージョン.....	12
知的財産および規制に関するご注意.....	13
コンピュータ ソフトウェア著作権.....	15
無線機のお手入れ.....	16
章 1 : はじめに.....	18
1.1 アイコン情報.....	18
1.2 従来型アナログおよびデジタル モード.....	19
1.3 IP サイト接続.....	19
1.4 Capacity Plus、.....	20
1.4.1 Capacity Plus–シングルサイト.....	20
1.4.2 Capacity Plus–マルチサイト.....	20
章 2 : はじめに.....	22
2.1 バッテリーの充電.....	22
2.2 バッテリーの取り付け.....	22
2.3 アンテナの取り付け.....	23
2.4 キャリング ホルスターの取り付け.....	24

2.5 ユニバーサル コネクタ カバー (ダスト カバー) の取り付け.....	24
2.6 ユニバーサル コネクタ カバーのクリーニング.....	25
2.7 ユニバーサル コネクタ カバー (ダスト カバー) の取り外し.....	26
2.8 アクセサリ コネクタの取り付け.....	26
2.9 アクセサリ コネクタの取り外し.....	26
2.10 無線機の電源のオン.....	27
2.10.1 無線機の電源のオフ.....	28
2.11 音量の調節.....	28
章 3 : 無線機コントロール.....	29
章 4 : WAVE.....	30
4.1 WAVE OnCloud/OnPremise.....	30
4.1.1 無線機モードから WAVE モードへの切り替え.....	30
4.1.2 WAVE グループ通話の発信.....	31
4.1.3 WAVE グループ通話の受信と応答.....	31
4.1.4 WAVE 個別通話の受信と応答.....	31

4.1.5 WAVE モードから無線機モード への切り替え.....	31	5.7.6 サイト制限.....	40
部 I : Capacity Max.....	32	5.7.7 サイト トランキング.....	40
5.1 プッシュトゥトーク (PTT) ボタン.....	32	5.8 通信.....	41
5.2 プログラム可能ボタン.....	32	5.8.1 グループ通信.....	42
5.3 指定可能な無線機機能.....	33	5.8.1.1 グループ通話の発信.....	42
5.4 指定可能な設定またはユーティリティ機 能	34	5.8.1.2 グループ通話への応答.....	43
5.5 ステータス インジケータ.....	35	5.8.2 ブロードキャスト コール.....	43
5.5.1 LED インジケータ.....	35	5.8.2.1 ブロードキャスト コー ルの発信.....	43
5.5.2 トーン.....	36	5.8.2.2 ブロードキャスト コー ルの受信.....	44
5.5.2.1 オーディオ トーン.....	36	5.8.3 個別コール.....	44
5.5.2.2 インジケータ トーン.....	36	5.8.3.1 個別通話の発信.....	45
5.6 登録.....	37	5.8.3.2 ワンタッチ コール ボタ ンを使用した個別コールの発信...	46
5.7 ゾーンとチャンネルの選択.....	38	5.8.3.3 個別コールの受信.....	46
5.7.1 ゾーンを選択.....	38	5.8.3.4 個別コールの受信.....	47
5.7.2 通話タイプの選択.....	38	5.8.3.5 個別コールの拒否.....	47
5.7.3 サイトの選択.....	39	5.8.4 一斉コール.....	48
5.7.4 ローミング要求.....	39	5.8.4.1 一斉コールの受信	48
5.7.5 サイト ロック オン/オフ.....	39		

5.8.4.2 一斉コールの発信	48	5.9.3.2 新しいホーム チャネル の設定.....	56
5.8.5 電話通話.....	49	5.9.4 [リモート モニタ].....	56
5.8.5.1 電話通話の発信.....	49	5.9.4.1 リモート モニタの開始....	56
5.8.5.2 プログラム可能なボタン で電話通話を行う	50	5.9.5 グループ スキャン.....	57
5.8.5.3 一斉コールとして電話通 話への応答.....	51	5.9.5.1 グループ スキャンのオ ンとオフの切り替え.....	57
5.8.5.4 グループ コールとして 電話通話への応答.....	51	5.9.6 受信グループ リスト.....	57
5.8.5.5 個別コールとして電話通 話への応答.....	52	5.9.7 優先度モニタ.....	58
5.8.6 通話割り込みの開始.....	52	5.9.8 複数グループの加入.....	58
5.8.7 割り込み通話.....	53	5.9.9 トークバック	59
5.8.8 音声割り込み.....	53	5.9.10 通信インジケータ設定.....	59
5.8.8.1 音声割り込みの有効化....	53	5.9.10.1 アラーム トーンの音量 を上げる.....	59
5.9 高度な機能.....	54	5.9.11 ページング操作.....	60
5.9.1 通話キュー.....	54	5.9.11.1 ページングへの応答.....	60
5.9.2 優先通話.....	55	5.9.11.2 ページングの発信.....	60
5.9.3 ホーム チャネル リマインダ.....	55	5.9.12 ミュート モード.....	61
5.9.3.1 ホーム チャネル リマイ ンダのミュート.....	56	5.9.12.1 ミュート モードの有効 化	61

5.9.12.2 ミュート モードの終了..	62	5.9.17.1 応答禁止の有効化または無効化.....	71
5.9.13 緊急操作.....	63	5.9.18 機能停止/復帰.....	71
5.9.13.1 緊急アラームの送信.....	64	5.9.19 無線終了.....	72
5.9.13.2 通話による緊急アラームの送信.....	65	5.9.20 ローン ワーカー.....	72
5.9.13.3 緊急アラームと音声ガイドの送信.....	66	5.9.21 パスワード ロック.....	72
5.9.13.4 緊急アラームの受信.....	67	5.9.21.1 パスワードを使用した無線機へのアクセス.....	73
5.9.13.5 緊急モードの終了.....	68	5.9.21.2 ロック状態の無線機をロック解除する.....	73
5.9.14 ステータス メッセージ.....	68	5.9.22 Bluetooth®.....	74
5.9.14.1 ステータス メッセージの送信.....	68	5.9.23 エア接続プログラミング.....	74
5.9.15 マルチサイト コントロール.....	69	5.9.24 Wi-Fi 操作.....	75
5.9.15.1 手動サイト検索の有効化	69	5.9.24.1 Wi-Fi のオン/オフの切り替え.....	76
5.9.15.2 サイト ロック オン/オフ	69	5.9.24.2 ネットワーク アクセスポイントへの接続.....	76
5.9.16 プライバシ.....	70	5.9.25 動的グループ番号割当 (DGNA)...	77
5.9.16.1 秘話モードのオンとオフの切り替え.....	70	5.9.25.1 DGNA コールの発信.....	77
5.9.17 応答禁止.....	71	5.9.25.2 DGNA 以外の通話の発信	77

5.9.25.3 DGNA 通話の受信と応答	78	6.3.2 トーン	86
5.10 ユーティリティ	78	6.3.2.1 インジケータ トーン	86
5.10.1 無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え	78	6.3.2.2 オーディオ トーン	86
5.10.2 音声ガイドのオンとオフの切り替え	79	6.4 ゾーンとチャンネルの選択	87
5.10.3 音声変換	79	6.4.1 ゾーンの選択	87
5.10.3.1 音声変換の設定	79	6.4.2 チャンネル選択	87
5.10.4 インテリジェント オーディオのオンとオフの切り替え	80	6.5 通信	88
5.10.5 トリル拡張のオンとオフの切り替え	80	6.5.1 グループ通信	88
部 II : 他のシステム	81	6.5.1.1 グループ通信への応答	88
6.1 プッシュトゥトーク ボタン	81	6.5.1.2 グループ通信の発信	89
6.2 プログラム可能ボタン	81	6.5.2 個別通信 	90
6.2.1 指定可能な無線機機能	82	6.5.2.1 個別通信への応答	90
6.2.2 指定可能な設定またはユーティリティ機能	84	6.5.2.2 個別通信の発信	91
6.3 ステータス インジケータ	84	6.5.3 一斉コール	92
6.3.1 LED インジケータ	84	6.5.3.1 一斉通信の受信	92
		6.5.3.2 一斉コールの発信	92
		6.5.4 選択コール 	93
		6.5.4.1 選択コールへの応答 	93
		6.5.4.2 選択コールの発信	93
		6.5.5 電話通話 	94

6.5.5.1 グループ コールとして 電話通話への応答 	95	6.5.9.2 OVCM コールへの応答..	100
6.5.5.2 個別コールとして電話通 話への応答 	95	6.6 高度な機能.....	101
6.5.5.3 一斉コールとして電話通 話への応答 	95	6.6.1 ダイレクト モード.....	101
6.5.5.4 プログラム可能な [TEL] ボタンで電話通話を行う	96	6.6.1.1 リピータとダイレクト モードの切り替え.....	101
6.5.6 通話割り込みの開始 	96	6.6.2 モニタ機能	101
6.5.7 ブロードキャスト音声通信	97	6.6.2.1 チャンネルのモニタ.....	102
6.5.7.1 ブロードキャスト音声通 話の発信.....	97	6.6.2.2 連続モニタ.....	102
6.5.7.2 ブロードキャスト音声通 話の受信.....	97	6.6.2.2.1 連続モニタのオ ンとオフの切り替え.....	102
6.5.8 アドレスなし通信	98	6.6.3 ホーム チャンネル リマインダ.....	102
6.5.8.1 未アドレス通話の発信.....	98	6.6.3.1 ホーム チャンネル リマイ ンダのミュート.....	103
6.5.8.2 未アドレス通話への応答	99	6.6.3.2 新しいホーム チャンネル の設定.....	103
6.5.9 オープン音声チャンネル モード (OVCM)	99	6.6.4 リモート モニタ.....	103
6.5.9.1 OVCM コールの発信.....	100	6.6.4.1 リモート モニタの開始..	104
		6.6.5 スキャン リスト.....	104
		6.6.6 スキャン.....	104
		6.6.6.1 スキャンのオンとオフの 切り替え.....	105

6.6.6.2 スキャン中の送信への応答	105	6.6.11.3 緊急アラームの送信.....	112
6.6.6.3 迷惑チャネルの削除.....	106	6.6.11.4 通話による緊急アラームの送信.....	112
6.6.6.4 迷惑チャネルの復元.....	106	6.6.11.5 音声ガイドおよび緊急アラーム.....	114
6.6.7 投票スキャン 	107	6.6.11.6 緊急アラームと音声ガイドの送信 	114
6.6.8 通信インジケータ設定.....	107	6.6.11.7 緊急モードの再開.....	115
6.6.8.1 アラーム トーンの音量を上げる.....	107	6.6.11.8 緊急アラーム送信後の緊急モードの終了.....	115
6.6.9 ページング操作.....	107	6.6.12 マン ダウン.....	116
6.6.9.1 ページングへの応答.....	107	6.6.12.1 マンダウン機能のオンとオフの切り替え.....	116
6.6.9.2 ページングの発信.....	108	6.6.13 プライバシ 	116
6.6.10 ミュート モード.....	108	6.6.13.1 秘話モードのオンとオフの切り替え 	117
6.6.10.1 ミュート モードの有効化	108	6.6.14 応答禁止.....	117
6.6.10.2 ミュート モードの終了	109	6.6.14.1 応答禁止の有効化または無効化.....	118
6.6.11 緊急操作.....	110		
6.6.11.1 緊急アラームの受信.....	111		
6.6.11.2 緊急アラーム受信後の緊急モードの終了.....	111		

6.6.15 複数サイト コントロール 	118	6.6.19 オートレンジ トランスポンダ システム 	123
6.6.15.1 手動サイト検索の有効 化	119	6.6.20 エア接続プログラミング 	124
6.6.15.2 サイト ロック オン/オ フ	119	6.6.21 Wi-Fi 操作	124
6.6.16 ローン ワーカー	120	6.6.21.1 Wi-Fi のオン/オフの切 り替え	125
6.6.17 パスワード ロック	120	6.6.21.2 ネットワーク アクセス ポイントへの接続	126
6.6.17.1 パスワードを使用した 無線機へのアクセス	121	6.7 ユーティリティ	126
6.6.17.2 ロック状態の無線機を ロック解除する	121	6.7.1 スケルチ レベル 	126
6.6.18 Bluetooth®	122	6.7.1.1 スケルチ レベルの設定	127
6.6.18.1 Bluetooth デバイスへの 接続	122	6.7.2 出力レベル	127
6.6.18.2 Bluetooth デバイスから の切断	123	6.7.2.1 パワー レベルの設定	127
6.6.18.3 内部無線機スピーカと Bluetooth デバイスの間のオー ディオ ルートの切り替え	123	6.7.3 音声起動送信	127
		6.7.3.1 音声起動送信のオンとオ フの切り替え	128
		6.7.4 ハウリング抑制機能のオンとオ フの切り替え 	128
		6.7.5 無線機トーン/アラートのオンと オフの切り替え	129
		6.7.6 バッテリー強度の確認	129

6.7.7 音声ガイドのオンとオフの切り 替え	129
6.7.8 音声変換のオンとオフの切り替 え	130
6.7.9 内部無線機スピーカと有線アク セサリの間のオーディオ ルートの切り 替え.....	130
6.7.10 トリル拡張のオンとオフの切り 替え.....	131
6.7.11 GNSS のオンとオフの切り替え	131
6.7.12 フレックス RX リストのオンと オフの切り替え.....	132
6.7.13 インテリジェント オーディオの オンとオフの切り替え.....	132
部 III : 認定アクセサリ リスト.....	133

重要な安全情報

携帯型業務用無線機に関する RF エネルギー被曝 および製品安全ガイド



注意：

この無線機は業務用の利用に限定されています。この製品をご使用になる前に、無線機に同梱されている『電磁波エネルギー被曝および製品安全性ガイド』をお読みください。このガイドには、安全な使用方法、RF エネルギーの認識、および該当する規格および規制への準拠の制御に関する操作手順が記載されています。

タイで利用可能なモデル:

อุปกรณ์โทรคมนาคมนี้ได้ปฏิบัติตามข้อกำหนดของคณะกรรมการกิจการ

โทรคมนาคมแห่งชาติ

この通信機器は、National Telecommunications Commission
の要件に適合しています。

ソフトウェア バージョン

次のセクションで説明されているすべての機能は、ソフトウェア バージョン **R02.21.01.0000** 以降でサポートされます。

詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

知的財産および規制に関する ご注意

著作権

本書に記載されている Motorola Solutions 製品には、著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。したがって、本書で説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製または再生してはなりません。

本書のいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、Motorola Solutions, Inc. からの事前の書面による許可なしに複製、伝送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

商標

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS、および図案化された M ロゴは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、ライセンスの下に使用されます。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

ライセンスの権利

Motorola Solutions 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola Solutions の著作権、特許または特許申請の対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされないものとします。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的、ロイヤルティ不要の使用ライセンスについては、この限りではありません。

オープン ソース コンテンツ

この製品には、ライセンスの下に使用されるオープン ソース ソフトウェアが含まれている場合があります。オープン ソースの法的通知および帰属の内容については、製品のインストール メディアを参照してください。

欧州連合 (EU) および英国 (UK) の電気電子廃棄物 (WEEE) 指令



■ 欧州連合の WEEE 指令および英国の WEEE 規制では、EU 諸国および英国に販売される製品 (場合によってはパッケージ) に車輪付きゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。WEEE 指令で規定されるとおり、この車輪付きゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国と英国の顧客とエンドユーザーが、電気および電子機器またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。

EU 諸国と英国の顧客またはエンドユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の機器販売代理店またはサービス センターに問い合わせる必要があります。

免責条項

特定のシステムに対して、本書で説明する特定の機能、設備、性能が適用されない、またはライセンス付与されない場合や、特定のモバイル加入者ユニットの特性や特定のパラメータの構成に依存する場合があることに注意してください。詳細については、Motorola Solutions の担当者にご確認ください。

© 2022 Motorola Solutions, Inc. All Rights Reserved

コンピュータ ソフトウェア著作権

本マニュアルに記載されている Motorola Solutions 製品には、半導体メモリやその他メディアに保管されている著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みのコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。

この際、著作権取得済みコンピュータ プログラムのあらゆる形態での複製または再生の独占権が含まれますが、これに限定されません。したがって、本マニュアルで説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可を得なければ、いかなる方法においても複製、再生、修正、リバース エンジニアリング、配信できません。さらに、Motorola Solutions 製品を購入しても、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によっても、Motorola Solutions の著作権、特許、または特許出願の対象となるライセンスは、一切付与されません。ただし、製品の販売において法の運用によって生じる通常の非独占的な使用ライセンスについては、この限りではありません。

本製品に組み込まれている AMBE+2™ 音声コーディング技術は、Digital Voice Systems, Inc. の特許、著作権、企業秘密を含む知的所有権で保護されています。

この音声コーディング技術は、この通信機器の範囲内での使用のみを対象にライセンス付与されています。この技術を使用するユーザーは、オブジェクト コードを逆コンパイル、リバース エンジニアリング、逆アセンブルしようと試みること、またはいかなる方法においてもオブジェクト コードを人間が読み取り可能な形式に変換しようと試みることを明確に禁じています。

米国特許番号 #5,870,405、#5,826,222、#5,754,974、
#5,701,390、#5,715,365、#5,649,050、#5,630,011、
#5,581,656、#5,517,511、#5,491,772、#5,247,579、
#5,226,084 および #5,195,166。

オープン ソース ソフトウェアの法定通知

この Motorola Solutions 製品にはオープン ソース ソフトウェアが含まれています。ライセンス、承認、必要な著作権表記、およびその他の使用条件の詳細については、次の Web ページで、該当する Motorola Solutions 製品の文書を参照してください。

<https://asiaonline.motorolasolutions.com>

無線機のお手入れ

このセクションでは、無線機の基本的な使用上のご注意について説明します。

表 1: IP 仕様

IP 仕様	説明
IP67	無線機は、15cm から 1m の深さの水に 30 分間浸水したり、2 ～ 8 時間防塵を必要とするような、悪条件の野外でも使用できます。



注意：

無線機を分解しないでください。分解すると無線機の密封部分が損傷し、無線機に漏洩箇所が生じることがあります。無線機のメンテナンスは、無線機の密封部分のテスト、交換が可能なサービスステーションで実施してください。

- 無線機が水没した場合は、無線機を振ってスピーカグリルやマイクポート内に入り込んでいる可能性のある水を除去してください。水が入り込むと、音声が悪化することがあります。

- 無線機のバッテリーの接触面が水に濡れた場合は、バッテリーを無線機に接続する前に、無線機およびバッテリーのバッテリー接触面をクリーニングして乾かしてください。水が残ると、無線機がショートすることがあります。
- 無線機が腐食性物質（たとえば、塩水）に浸かった場合は、無線機およびバッテリーをきれいな水ですすいしてから無線機およびバッテリーを乾かしてください。
- 無線機の外面をクリーニングするには、低刺激性の食器用洗剤の希釈液と真水（たとえば、3 リットルの水に大さじ 1 杯の洗剤）を使用してください。
- バッテリー接触面の下無線機シャーシにあるベント（穴）を突かないでください。このベントには、無線機内部の圧力を均等化する働きがあります。ベントを突くと無線機へのリークパスが生じ、無線機の防水性が損なわれることがあります。
- ベントを塞いだり、覆ったりしないでください。ラベルも貼らないでください。
- 油性物質がベントに接触しないようにしてください。
- アンテナが正しく取り付けられた無線機は最深 1 メートル (3.28 フィート)、最長 30 分の防水性能を備えています。最大限度値を超えたり、アンテナなしで使用したりすると、無線機が損傷するおそれがあります。

- 無線機をクリーニングする際には、高圧ジェット スプレーを使用しないでください。水深 1 メートルの水圧を超えるので、無線機に水が浸入する場合があります。

はじめに

このユーザー ガイドでは、無線機の操作方法を説明しています。

ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

以下については、ディーラーまたはシステム管理者にお問い合わせください。

- 従来チャンネルのプリセットが無線機にプログラムされているか？
- 他の機能にアクセスするために、どのボタンがプログラムされているか？
- どのオプション アクセサリが自分のニーズに対応するか？
- 効果的に通信するには、無線機をどのように使用すれば良いか？
- 無線機の寿命を延ばすには、どのような保守手段が役立つか？

1.1

18

アイコン情報

このガイドでは、従来型アナログ モードと従来型デジタル モードのみの機能を区別するために、以下の 2 つのアイコンが使われています。



従来型アナログ モードのみの機能を示しています。



従来型デジタル モードのみの機能を示します。

従来型アナログとデジタルの両方のモードで利用可能な機能については、両方のアイコンが表示されません。

従来型マルチサイト モードで利用可能な機能の詳細については、「[IP サイト接続 ページ 19](#)」を参照してください。

一部の機能はシングルサイト トランキング モードである Capacity Plus-シングルサイトでも利用できます。詳細については、[Capacity Plus-シングルサイト ページ 20](#) を参照してください。

一部の機能はマルチサイト トランキング モードである Capacity Plus-マルチサイトでも利用できます。詳細につ

いては、[Capacity Plus–マルチサイト ページ 20](#) を参照してください。

1.2

従来型アナログおよびデジタル モード

無線機の各チャンネルを、従来型アナログ チャンネルか従来型デジタル チャンネルとして設定できます。

1: チャンネル セレクタ ノブ

デジタル モードからアナログ モードに切り替えると、一部の機能が使用できなくなります。

無線機には、アナログとデジタルの両方のモードで利用できる機能もあります。それぞれの機能のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことはありません。



注：

また、デュアル モード スキャン中には、デジタル モードとアナログ モードが切り替わります。詳細については、「[スキャン ページ 104](#)」を参照してください。

1.3

IP サイト接続

この機能を使用すると、従来のシングルサイトでは無線機の通信範囲外となる場所でも、インターネット プロトコル (IP) ネットワークを使用して利用可能な別のサイトに接続して通信できます。



注：

この機能は Capacity Plus では利用不可です。

一方のサイトの通信範囲から外れて別のサイトの通信範囲に無線機が移動すると、新しいサイトのリピータに接続して、通信またはデータを送受信します。設定に応じて自動または手動で接続を切り替えます。

自動サイト検索では、現在のサイトからの信号が弱い場合や、無線機が現在のサイトからの信号をまったく検出できない場合に、利用可能なサイトをすべてスキャンします。次に、無線機は受信信号強度インジケータ (RSSI) 値が最も強いリピータにロックします。

手動サイト検索では、無線機は、信号強度が最も強いサイトを検索するのではなく、現在通信範囲内にあるローミングリストの次のサイトを検索し、リピータにロックします。



注：

各チャンネルで、スキャンまたはローミングのどちらかを有効にできますが、両方同時に有効にはできません。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定のローミング リストに追加されます。自動ローミング動作時にローミング リスト内のチャンネルが検索され、最適なサイトが検出されます。ローミング リストでは、最大 16 チャンネルを使用できます (選択したチャンネルを含む)。



注：

手動では、ローミング リスト内のエントリの追加や削除はできません。この機能の使用に必要なソフトウェアのライセンス キーは別売りです。詳細については、販売店にお問い合わせください。

1.4

Capacity Plus、

Capacity Plus は、シングルおよびマルチサイト向けのエントリレベルのトラッキング システムです。シングルおよびマルチサイトの動的トラッキングで、より大きな通信容量と通信範囲に対応します。

1.4.1

Capacity Plus–シングルサイト

Capacity Plus–シングルサイトは、MOTOTRBO 無線機システムのシングルサイト トランキング構成であり、多数のユ

ーザーと最大で 254 のグループをサポートするためのチャンネル プールを使用します。この機能を使用すると、リピータ モードのとき、お使いの無線機でプログラムされたチャンネル数を有効活用できます。

Capacity Plus–シングルサイトでは利用できない機能に、プログラム可能ボタンからアクセスしようとする、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

無線機には、従来型デジタルモード、IP Site Connect、および Capacity Plus のいずれのモードでも利用できる機能もあります。ただし、それぞれの機能のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことはありません。

この設定の詳細については、ディーラーかシステム管理者にご確認ください。

1.4.2

Capacity Plus–マルチサイト

Capacity Plus–マルチサイトは、Capacity Plus と IP Site Connect 構成の優れた特徴を組み合わせた MOTOTRBO 無線機システムのマルチチャンネル トランキング構成です。

この機能を使用すると、無線機は IP ネットワーク経由で接続されている別の利用可能サイトに接続するので、シングルサイトでは通信範囲外となる地域とのトラッキング通信が可能になります。また、各利用可能サイトでサポートさ

れているプログラム済みチャンネルは、組み合わせられて効率的に利用されるため、容量も増加します。

一方のサイトの通信範囲から外れて別のサイトの通信範囲に無線機が移動すると、新しいサイトのリピータに接続して、通話またはデータを送受信します。設定に応じて、この切り替えは自動や手動で行われます。

無線機がこの切り替えを自動的に行うように設定されている場合、現在のサイトからの信号が弱くなったり、無線機が現在のサイトから信号をまったく検出できなくなった場合に、無線機はすべての利用可能サイトをスキャンします。その後、無線機は RSSI 値が最も強いリピータにロックします。

手動サイト検索では、無線機はローミング リスト内を検索して、現在通信範囲内にある次のサイト (ただし、信号強度が最も強いサイトとは限らない) を見つけ、そのサイトにロックします。

この機能が有効になっているチャンネルは、特定ローミング リストに追加されます。無線機は、自動ローミング動作時にこれらのチャンネルを検索し、最適なサイトを見つけてます。



注:

ローミング リストへのエントリの追加や削除は手動では行えません。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

Capacity Plus-シングルサイトと同様に、Capacity Plus-マルチサイトに該当しない機能のアイコンはメニューで使用できません。プログラム可能ボタンから Capacity Plus-マルチサイトでは利用できない機能にアクセスしようとすると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。この機能を使用するには、別売のソフトウェア ライセンス キーが必要です。

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

はじめに

「はじめに」では、無線機を使用する前の準備の手順について説明します。

2.1

バッテリーの充電

お使いの無線機は、電源にニッケル水素 (NiMH) またはリチウムイオン (Li-Ion) バッテリーを使用しています。

充電中は無線機の電源を切ってください。

- 保証条件に準拠するため、および損傷を防ぐために、充電器のユーザーガイドに従い、Motorola Solutions 承認充電器でバッテリーを充電してください。
- 最善の性能を出すためには、最初にご使用になる前に新しいバッテリーを 14 ～ 16 時間充電してください。

バッテリーの充電は室温であるのが最適です。

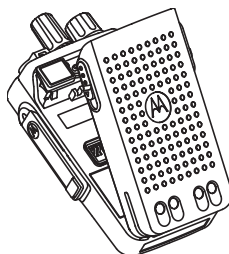
- IMPRES™ バッテリーの充電には、バッテリーの寿命とバッテリーの貴重なデータを最適な状態で保つために、必ず IMPRES 充電器をご使用ください。

2.2

バッテリーの取り付け

下記の手順に従って、バッテリーを無線機に取り付けます。

- 1 バッテリーを無線機下部のスロットに入れます。



- 2 ラッチが収まるまでバッテリーの上部を下に押し込みます。



注：

このバッテリー不一致の際の警告機能は、Erasable Programmable Read Only Memory (EPROM) にプログラムされているキット番号を持つ IMPRES バッテリーおよび非 IMPRES バッテリーにのみ適用されます。

無線機に誤ったバッテリーを接続すると、低い警告音が鳴り、LED が赤色に点滅します。また、CPS や RM を使用して音声ガイド/音声変換を実行している場合は、音声ガイド/音声変換によって「バッテリー エラー」と読み上げられます。

無線機にサポートされていないバッテリーを接続すると、警告トーンが鳴ります。

UL バッテリーを FM 認定の無線機に接続した場合 (またはその逆の場合)、無線機の認定が無効になります。このバッテリーの不一致が発生したときに警告を発するように、CPS で無線機をプログラムできます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

無線機にサポートされていないバッテリーや誤ったバッテリーを接続している場合は、すぐに正しいバッテリーと交換してください。

2.3

アンテナの取り付け

無線機の電源を切ります。

レセプタクルにアンテナをセットし、時計回りに回します。



注：

水やほこりから保護するために、アンテナがしっかりと取り付けられていることを確認してください。



注：

アンテナを取り外すには、アンテナを反時計回りに回します。



注意：

損傷を防ぐため、故障したアンテナは MOTOTRBO アンテナのみと交換してください。

2.4

キャリングホルスターの取り付け

- 1 キャリングホルスターのレールをバッテリーの溝に合わせます。
- 2 カチッという音が聞こえるまで押し下げます。

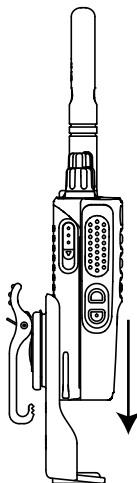


図 1: キャリングホルスターの取り付け

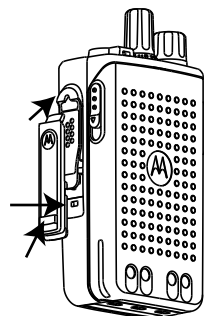
2.5

ユニバーサルコネクタカバー (ダストカバー) の取り付け

ユニバーサルコネクタは、無線機のアンテナ側にあります。このコネクタは、MOTOTRBO アクセサリを無線機に接続するために使用します。

ユニバーサルコネクタを使用しないときは、ユニバーサルコネクタカバーまたはダストカバーを取り付けておきます。

- 1 カバーの斜めの突起が付いている方を、ユニバーサルコネクタの上のスロットに挿入します。
- 2 ラッチを押し上げて、ダストカバーを無線機に固定します。



2.6

ユニバーサル コネクタ カバーのクリーニング

アクセサリの取り付け前やダスト カバーの交換前に無線機が水にさらされた場合は、ユニバーサル コネクタを乾かしてください。無線機が塩水や汚染物質にさらされた場合は、以下のクリーニング手順を実行してください。

- 1 3 リットルの水に低刺激性食器用洗剤を大さじ 1 杯 (15 ミリリットル) 加えて混ぜ合わせ、濃度 0.5% の溶液を作ります。

- 2 この溶液は、無線機の外部表面のクリーニングのみに使用します。毛先が短い、非金属製の硬いブラシを使用して、溶液を控えめに塗り付けます。

- 3 糸くずのでない柔らかな布で、無線機を丁寧に拭きます。ユニバーサル コネクタの接触面に汚れがなく、乾いていることを確かめます。

- 4 ユニバーサル コネクタの接触面に Deoxit Gold Cleaner または Lubricant Pen (CAIG Labs 社製、製品番号 G100P) を適用します。

- 5 ユニバーサル コネクタにアクセサリを取り付けて、接続をテストします。



注：

無線機を水に沈めないでください。ユニバーサル コネクタ、各コントロール部、または隙間に余分な洗剤が残っていないことを確認します。

メンテナンスとして、無線機は月に 1 度はクリーニングしてください。石油化学工場や塩分濃度が高い海洋環境などの厳しい環境では、より頻繁に無線機をクリーニングしてください。

2.7

ユニバーサル コネクタ カバー (ダスト カバー) の取り外し

- 1 ラッチを下に押します。
- 2 カバーを持ち上げ、ダストカバーをユニバーサルコネクタの下方向にスライドさせて外します。

ユニバーサル コネクタを使用しないときは、ダスト カバーを取り付けておきます。

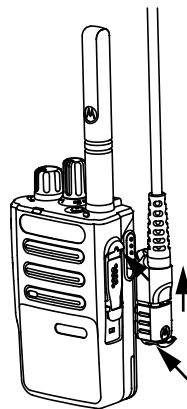
2.8

アクセサリ コネクタの取り付け

アクセサリ コネクタは、無線機のアンテナ側にあるユニバーサル コネクタに固定します。下記の手順に従って、アクセサリ コネクタを無線機に取り付けます。

- 1 斜めの突起が付いている方を、ユニバーサル コネクタの上のスロットに挿入します。
- 2 コネクタを押し上げます。

- 3 カチッという音が聞こえるまでアクセサリ コネクタを押し下げます。



2.9

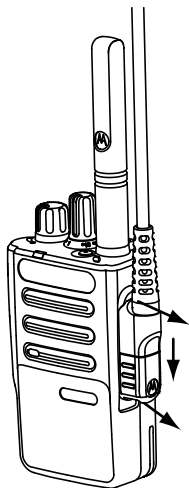
アクセサリ コネクタの取り外し

下記の手順に従って、アクセサリ コネクタを無線機から取り外します。

- 1 コネクタのラッチを外側に引きます。

2 コネクタを下にスライドします。

3 コネクタを外側に引きます。



2.10

無線機の電源のオン

カチッという音がするまで、オン/オフ/音量コントロールノブを時計回りに回します。

成功すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。



注：
トーン/アラート機能が無効になっている場合は、起動時にトーンは鳴りません。

- LED が緑色に点灯します。



注：
ソフトウェアのバージョンを **R02.07.00.0000** 以降にアップデートした後、最初の起動時に、GNSS ファームウェアのアップグレードが行われます。これには約 20 秒かかります。アップグレードの後、無線機はリセットされて、電源がオンになります。ファームウェアのアップグレードは、最新のソフトウェアおよびハードウェアを搭載した携帯型モデルにのみ適用されます。

無線機の電源が入らない場合、バッテリーをご確認ください。バッテリーが充電され、正しく取り付けられているかどうか

確認してください。それでも無線機の電源が入らない場合、ディーラーにお問い合わせください。

2.10.1

無線機の電源のオフ

カチッという音がするまで、オン/オフ/音量コントロール ノブを反時計回りに回します。

2.11

音量の調節

無線機の音量を調整するには、次のいずれかの操作を実行します。

- 音量を上げるには、オン/オフ/音量コントロール ノブを時計回りに回します。
- 音量を下げるには、オン/オフ/音量コントロール ノブを反時計回りに回します。

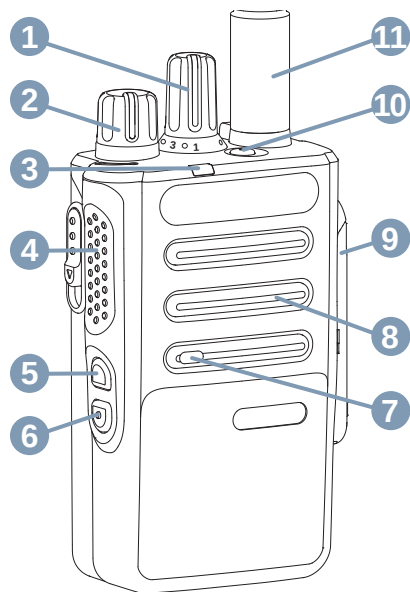


注：

無線機には、最小音量のオフセットをプログラムできます。プログラムされた最小音量より下げることとはできなくなります。

無線機コントロール

この章では、無線機を制御するボタンと機能について説明します。



- 1 チャンネル セレクタ ノブ
- 2 オン/オフ/音量コントロール ノブ
- 3 LED インジケータ
- 4 プッシュトゥートーク (PTT) ボタン
- 5 サイド ボタン 1¹
- 6 サイド ボタン 2¹
- 7 マイク
- 8 スピーカー
- 9 アクセサリ用のユニバーサル コネクタ
- 10 緊急ボタン¹
- 11 アンテナ

¹ このボタンはプログラム可能です。

WAVE

Wide Area Voice Environment (WAVE™) では、新しい方法で、2 台以上の無線機間で通話を行います。

WAVE を使用すると、Wi-Fi を使用して、異なるネットワークやデバイスで通信できます。無線機が Wi-Fi 経由で IP ネットワークに接続すると、WAVE 通話が実行されます。

無線機は次の異なるシステム構成をサポートします。

- WAVE OnCloud/OnPremise

WAVE 通話を開始する方法は、各システム タイプにより異なります。無線機のシステム構成に応じて適切なセクションを参照してください。



注：
この機能は、特定のモデルのみに適用されます。

4.1

WAVE OnCloud/OnPremise

4.1.1

無線機モードから WAVE モードへの切り替え

プログラムされた **[WAVE]** ボタンを押します。

黄色の LED が 2 回点滅します。



注：
WAVE モードに切り替えると、無線機は自動的に Wi-Fi を有効にします。

正常に行われた場合:

- 点滅する黄色の LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。



注：
新しい設定が無線機に更新されると、同期が行われます。WAVE モードに入ると、無線機に「同期中...」と表示されます。同期が完了すると、無線機はホーム画面に戻ります。

4.1.2

WAVE グループ通話の発信

- 1 チャンネル セレクタ ノブまたはボタンを使用して、WAVE グループを選択します。
- 2 発信するには、**[PTT]** ボタンを押します。

通話に失敗した場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

4.1.3

WAVE グループ通話の受信と応答

WAVE グループ通話を受信した場合:

- トーンが鳴ります。
 - 無線機のミュートが解除され、着信通話の音はスピーカから聞こえます。
- 1 発信するには、**[PTT]** ボタンを押します。
 - 2 受話するには、**[PTT]** ボタンを放します。

4.1.4

WAVE 個別通話の受信と応答

WAVE 個別通話を受信する場合:

- トーンが鳴ります。
 - 無線機のミュートが解除され、着信通話の音はスピーカから聞こえます。
- 1 発信するには、**[PTT]** ボタンを押します。
 - 2 受話するには、**[PTT]** ボタンを放します。

4.1.5

WAVE モードから無線機モードへの切り替え

プログラムされた **[無線機モード]** ボタンを押します。

黄色の LED が 2 回点滅します。

成功した場合:

- 点滅する黄色の LED が消灯します。

Capacity Max

Capacity Max は MOTOTRBO 制御チャンネル ベースのトランキング無線システムです。

MOTOTRBO デジタル無線製品は、主にビジネス ユーザーおよび産業ユーザー向けに Motorola Solutions が販売しています。MOTOTRBO では、欧州電気通信標準化機構 (ETSI) のデジタル移動無線 (DMR) 標準を使用しています。これは、2 スロットの時分割多元接続 (TDMA) で、同時音声またはデータを 12.5kHz チャンネル (6.25kHz 相当) でパックします。

5.1

プッシュトゥトーク (PTT) ボタン

PTT ボタンには基本的に 2 つの目的があります。

- 通話中に **PTT** ボタンを使用して、通話に加わっている他の無線機に送信できます。**PTT** ボタンを押すと、マイクが有効になります。
- 通話中でないときは、新規通話を発信するために **[PTT]** ボタンを使用します ([「通信 ページ 41」](#) を参照)。

32

話すには、**PTT** ボタンを長押しします。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

通話許可トーンまたは **PTT** サイドトーン が有効となっている場合、短い警告トーンが終了してから話します。

お使いの無線機でチャンネル フリー通知機能が有効になっている (ディーラーによってプログラムされている) 場合、ターゲットの無線機 (通話を受けている無線機) で **[PTT]** ボタンが放された瞬間に、短いアラート トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが空いて、応答できるようになったことを示します。

通話が中断されると、継続した通話禁止音が聞こえます。たとえば、無線機が緊急コールを受信する場合などです。**[PTT]** ボタンを放す必要があります。

5.2

プログラム可能ボタン

ディーラーは、プログラム可能ボタンに対して、ボタンを押す長さごとに、無線機能へのショートカットをプログラムできます。

短押し

押してすぐに離します。

長押し

プログラムされた時間の間、押し続けます。



注：

【きんきゅう】 ボタンを押す長さをプログラミングする方法については、「[緊急操作 ページ 110](#)」を参照してください。

5.3

指定可能な無線機機能

無線機の以下の機能は、ディーラーまたはシステム管理者がプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

音声切替

内部無線機スピーカと有線アクセサリ スピーカとの間のオーディオ ルーティングを切り替えます。

バッテリー残量

LED インジケータでバッテリーの強度を示します。

Bluetooth® オーディオ切り替え

内部無線機スピーカと外部 Bluetooth 対応アクセサリの間のオーディオ ルーティングを切り替えます。

Bluetooth 接続

Bluetooth の検出と接続の動作を開始します。

Bluetooth 切断

無線機と Bluetooth 対応デバイス間のすべての既存の Bluetooth 接続を終了します。

Bluetooth 検出可能

無線機を Bluetooth 検出可能モードに切り替えることができます。

キャンセル

ユーザーが選択された通信を終了できます。

緊急モード

プログラムに応じて、緊急通信を開始またはキャンセルします。

インテリジェント オーディオ

インテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。

手動サイト ローミング

手動サイト検索を開始します。

マイク AGC

内部マイクの自動ゲイン制御 (AGC) のオンとオフを切り替えます。Bluetooth セッションでは使用できません。

ワンタッチ アクセス

事前に定義したブロードキャスト通信、個別通信、電話通話、グループ通信、またはページングを直接開始します。

電話終了

電話通話を終了します。

プライバシー

秘話モードのオンとオフを切り替えます。

ホーム チャンネルのリセット

新規ホーム チャンネルを設定します。

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダをミュートします。

サイト ロック

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

通信の優先度の切り替え

無線機の、通信優先度: 高/通常への切り替えを可能にします。

トリル拡張

トリル拡張のオンとオフを切り替えます。

音声ガイド オン/オフ

音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

チャンネルの音声ガイド

現在のチャンネルのゾーンとチャンネル アナウンス音声メッセージを示します。この機能は、音声ガイド機能が無効のときは使用できません。

Wi-Fi

Wi-Fi のオンとオフを切り替えます。

ゾーン切り替え

ゾーン 1 とゾーン 2 の切り替えを無線機ユーザーに許可します。

5.4

指定可能な設定またはユーティリティ機能

無線機の以下の設定またはユーティリティ機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

トーン/アラート

全トーンとアラートのオンとオフを切り替えます。

パワー レベル

送信出力レベルの高低を切り替えます。

5.5

ステータス インジケータ

この章では、無線機で使用するステータス インジケータおよびオーディオ トーンについて説明します。

5.5.1

LED インジケータ

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。

赤色の点滅

電源投入時のセルフ テストに失敗しました。

緊急送信を受信しています。

低バッテリー状態で送信しています。

オートレンジ トランスポンダ システムで設定されている通信範囲から外れました。

ミュート モードが有効です。

緑色の点灯

無線機が電源オンになっています。

送信しています。

プログラムされた【バッテリー強度】ボタンを押したときに、バッテリーが完全に充電されていることを示します。

無線機はページングまたは緊急送信を送信しています。

緑色の点滅

通信またはデータを受信しています。

エア接続でエア接続プログラミング送信を取得しています。

エア接続アクティビティを検出しています。



注：
このアクティビティによるプログラム済みチャネルへの影響は、デジタル プロトコルの特性によって異なります。

緑色の 2 回点滅

秘話モード対応通信またはデータを受信しています。

黄色の点灯

無線機が Bluetooth 検出可能モードになっています。

プログラムされた【バッテリー強度】ボタンを押したときに、十分なバッテリーが残っていることを示します。

黄色の点滅

ページングにまだ応答していません。

黄色の 2 回点滅

自動ローミング機能が有効です。

新規サイトを検索しています。

グループのページングにまだ応答していません。

ロックされています。

5.5.2

トーン

以下は、無線機のスピーカから鳴るトーンです。



高いトーン



低いトーン

5.5.2.1

オーディオ トーン

オーディオ トーンは、無線機の状態や無線機が受信したデータへの応答を音で知らせます。



連続トーン

モノ トーン音。終了まで連続音が鳴ります。



定期トーン

無線機で設定した期間、定期的に音が鳴ります。トーンが開始、中止、反復されます。



反復トーン

ユーザーが停止するまで、シングル トーンが繰り返されます。



瞬間トーン

無線機で設定した短いトーンが 1 回鳴ります。

5.5.2.2

インジケータ トーン

タスクを実行するアクションが行われた後、インジケータ トーンによりステータスが音声で通知されます。



ポジティブ インジケータ トーン



ネガティブ インジケータ トーン

5.6

登録

ユーザーは、登録に関連するさまざまなメッセージを受け取る可能性があります。

登録中

通常、登録情報は電源投入中、グループの変更中、またはサイトローミング中にシステムに送信されます。サイトでの登録に失敗すると、無線機は自動的に別のサイトへのローミングを試みます。登録が試みられたサイトは、無線機によってローミングリストから一時的に削除されます。

これは、無線機がローミング用サイトの検索のためにビジーであるか、無線機がサイトを発見し、無線機からの登録メッセージに対する応答を待っているということを意味します。

無線機の登録中は、トーンが鳴り、黄色の LED が 2 回ずつ点滅してサイト検索中であることを示します。

この状態が終わらない場合、ユーザーは別の場所に移動したり、可能であれば、手動で別のサイトにローミング接続する必要があります。

サービス圏外

無線機がシステムまたは現在のサイトから信号を検出できない場合、この無線機はサービス圏外にあるとみなされます。通常は、無線機が地理的に発信無線周波数 (RF) サービスエリア外にあることを意味します。

無線機が圏外にあるとき、トーンが繰り返して鳴り、赤色の LED が点滅します。

良好な RF サービスエリア内でも無線機に圏外と表示されるようであれば、お近くの販売店またはシステム管理者にお問い合わせください。

グループへの参加失敗

無線機は登録中に、チャンネルまたは UKP (Unified Knob Position) に指定されたグループへの参加を試みます。

参加失敗状態にある無線機は、参加を試みているグループと受信も発信もできません。

無線機に参加失敗の表示がされる場合、お近くの販売店またはシステム管理者までお問い合わせください。

登録拒否

システムへの登録が承諾されない場合、登録拒否を示すインジケータが表示されます。

無線機は、登録拒否の理由を個別に表示しません。一般には、システム オペレータがシステムへの無線機のアクセスを無効にすると、登録が拒否されます。

無線機が登録拒否されているときは、黄色の LED が 2 回ずつ点滅してサイトを検索します。

5.7

ゾーンとチャネルの選択

この章では、無線機でゾーンまたはチャネルを選択する操作について説明します。

最大 250 個の Capacity Max ゾーンを無線機にプログラムでき、1 ゾーンの最大チャネル数は 160 です。各 Capacity Max ゾーンは、指定可能な位置を最大 16 件含みます。

5.7.1

ゾーンの選択

下記の手順に従って、無線機で必要なゾーンを選択します。

プログラムされたゾーン切り替えボタンを押します。

次のトーンのいずれかが鳴ります。

ポジティブ インジケータ トーン
無線機はゾーン 2 にあります。

ネガティブ インジケータ トーン
無線機はゾーン 1 にあります。



注：

キーパッドがないすべての無線機では、ゾーン選択のために音声ガイド機能を有効にすることをお勧めします。音声ガイド機能は、CPS でのみ有効にできます。

5.7.2

通話タイプの選択

チャネル セレクタ ノブを使用して通話タイプを選択します。無線機のプログラム方法に応じてグループ コール、ブロードキャスト コール、一斉コール、または個別コールを選択可能です。チャネル セレクタ ノブを異なる位置 (通話タイプが割り当てられている位置) に変更する場合、無線機を Capacity Max System に再登録することになります。無線機は、新しいチャネル セレクタ ノブ位置の通話タイプにプログラムされているグループ ID に登録します。

プログラムされていないチャンネルを選択した場合、無線機は動作しないため、選択せずにチャンネル セレクタ ノブを使用して、プログラムされているチャンネルを選択してください。

必要なゾーンが設定されたら (無線機に複数のゾーンがある場合)、プログラムされているチャンネル セレクタ ノブを回して 通話タイプを選択します。

5.7.3

サイトの選択

1 つのサイトは、特定の 1 エリアの通信範囲を規定します。マルチサイト ネットワークでは、現在のサイトからの信号レベルが受容できないレベルまで下がると、Capacity Max 無線機は、新しいサイトを自動的に検索します。

Capacity Max システムは、最大 250 サイトをサポートできます。

5.7.4

ローミング要求

ローミング要求は、現在のサイトからの信号が十分であっても、異なるサイトを検索するよう無線機に指示します。

使用可能なサイトが存在しない場合:

- 無線機に サイト リストの検索が継続されます。
- 前のサイトがまだ使用できる場合は、無線機が前のサイトに戻ります。



注:
ディーラーがプログラムします。

プログラムされた **【手動ローミング】** ボタンを押します。

無線機が新しいサイトに切り替わったことを示すトーンが聞こえます。

5.7.5

サイト ロック オン/オフ

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

プログラムされた **【サイト ロック】** ボタンを押します。

【サイト ロック】 機能をオンに切り替えると、

- ポジティブ インジケータ トーンが聞こえて、無線機が現在のサイトにロックされていることを示しています。

【サイト ロック】機能をオフに切り替えると、

- ネガティブ インジケータ トーンが聞こえます。
無線機のロックが解除されていることを示しています。

5.7.6

サイト制限

Capacity Max システムでは、無線機のシステム管理者が、無線機の使用を許可するネットワーク サイトと禁止するネットワーク サイトを決定できます。

許可サイトと禁止サイトのリストを変更するために、無線機をプログラミングし直す必要はありません。禁止されているサイトで無線機が登録を試みると、無線機はこのサイトが禁止されていることを示す応答を受信します。その後、無線機では、異なるネットワーク サイトが検索されます。

無線機でサイトの制約が発生すると、黄色の LED が 2 回ずつ点滅してサイトを検索します。

5.7.7

サイト トランキング

サイト トランキングは Capacity Max システムでのみ使用できます。サイトがシステム トランキングとみなされるためには、トランク コントローラと通信する必要があります。

サイトがシステムのトランク コントローラと通信できない場合、無線機はサイト トランキング モードになります。サイト トランキング モードの無線機は、定期的に音声および表示による通知を行って、機能が制限されていることをユーザーに知らせます。

サイト トランキング モードの場合、反復トーンが鳴ります。

サイト トランキング モードの無線機は、グループおよび個別の音声通信を行うことも、同じサイト内の他の無線機にテキスト メッセージを送信することもできます。音声コンソール、ロギング レコーダ、電話ゲートウェイ、およびデータ アプリケーションが同サイトの無線機と通信することはできません。

複数サイトにまたがる通信に参加している無線機がサイト トランキング モードになると、同じサイト内の他の無線機

としか通信できなくなります。他のサイトとの通信は失われます。



注:

無線機の現在の位置をサービス対象エリアとするサイトが複数あり、いずれかのサイトがサイト トランキング モードになると、そのサイトの無線機は、圏内にある別のサイトにローミングします。

5.8

通信

この章では、通信の受信、応答、発信、停止の操作について説明します。

以下の機能のいずれかを使用してチャンネルを選択した後、無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID を選択できます。

プログラムされた [ワン タッチ アクセス] ボタン

この方法は、グループ、個別、電話通信のみに使用します。

ワン タッチ アクセス ボタンでは、プログラム可能ボタンの短押しまたは長押しに、それぞれ単一の ID のみを割り当てできます。

プログラム可能ボタン

この方法は、電話通話のみに使用します ([プログラム可能な \[TEL\] ボタンで電話通話を行う ページ 96](#) 参照)。



注:

秘話対応通信のスクランブルを解除するには、無線機に送信側無線機 (受信中の通信の相手) と同一のプライバシー キー、または同一のキー値とキー ID (ディーラーがプログラミング) が設定されている必要があります。

詳細については、[プライバシー ページ 116](#) を参照してください。

5.8.1

グループ通信

ユーザー グループとの通話を受信/発信するには、無線機をそのグループの所属に設定する必要があります。

5.8.1.1

グループ通話の発信

ユーザーのグループに通話を発信するには、無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - アクティブなグループのエイリアス (名称) または ID のチャンネルを選択します。[通話タイプの選択 ページ 38](#) を参照してください。
 - プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。

- 5 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。
通話の発信者は、プログラムされた **[キャンセル]** ボタンを押して、グループ コールを終了できます。

5.8.1.2

グループ通話への応答

グループ通話を受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
- 音声割り込み機能が有効になっている場合、**[PTT]** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

5.8.2

ブロードキャスト コール

ブロードキャスト コールは、ユーザーからグループ全体に対する一方向の音声通話です。

ブロードキャスト コール機能では、通話を開始したユーザーのみがグループへ送信でき、通話の受信者は応答できません。

ブロードキャストの発信者は、ブロードキャスト コールを終了することもできます。ユーザー グループとの通話を受信/発信するには、無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。

5.8.2.1

ブロードキャスト コールの発信

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブなグループのエイリアス (名称) または ID のチャンネルを選択します。[通話タイプの選択 ページ 38](#) を参照してください。

- プログラムされた【ワンタッチ アクセス】ボタンを押します。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

通話の発信者は、プログラムされた【キャンセル】ボタンを押して、ブロードキャスト コールを終了できます。

- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。



注：

ブロードキャスト コール中は、受信ユーザーがトークバックすることはできません。ブロードキャスト コール中に **PTT** ボタンを押すと、トークバック禁止音が瞬間的に鳴ります。

5.8.3

個別コール

個別コールとは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通話です。

個別コールには、2 つの設定方法があります。

- 最初の通話タイプは OACSU (Off Air Call Set-Up) と呼ばれています。OACSU は、無線機のプレゼンス チェック実施後に通話をセットアップし、通話を自動的に完了します。
- 2 つ目のタイプは FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) と呼ばれています。FOACSU でも、無線機のプレゼンス チェック実施後に通話をセットアップします。ただし、FOACSU の通話は、通話の完了にユーザーの確認を必要

5.8.2.2

ブロードキャスト コールの受信

下記の手順に従って、無線機でブロードキャスト コールを受信します。

ブロードキャスト コールを受信した場合：

とし、ユーザーは通話を許可するか拒否するかを選択することができます。

通話タイプはシステム管理者が設定します。



注：

通話の発信者と受信者のどちらでも、プログラムされた【キャンセル】ボタンを押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

5.8.3.1

個別通話の発信

個別コールを開始するには無線機をプログラムする必要があります。この機能が無効である場合に通話を開始すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。相手の無線機が利用不可の場合、短いトーンが鳴ります。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブな無線機のエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。[通話タイプの選択 ページ 38](#) を参照してください。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。

5 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。短いトーンが鳴ります。

通話の発信者と受信者のどちらでも、プログラムされた【キャンセル】ボタンを押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

5.8.3.2

ワンタッチ コール ボタンを使用した個別 コールの発信

ワンタッチ コール機能を使用すると、事前定義された個別コール エイリアスまたは ID に対する個別コールを簡単に発信できます。この機能は、ボタンを短くまたは長く押すという、プログラム可能なボタンの押し方に割り当てることができます。

ワンタッチ コール ボタンには、エイリアスまたは ID を 1 つのみ割り当てることができます。無線機には、複数の ワンタッチ コール ボタンをプログラムできます。

- 1 プログラムされた【ワンタッチ コール】ボタンを押し、事前に定義された個別通話エイリアスまたは ID に個別コールを発信します。
- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
LED が緑色で点灯します。
- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し (有効な場合)、マイクに向かってはっきりと話します。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

ターゲットの無線機が応答すると、LED が緑色に点滅します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

通話の発信者と受信者のどちらでも、プログラムされた【キャンセル】ボタンを押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

5.8.3.3

個別コールの受信

OACSU (Off Air Call Set-Up) として設定された個別コールを受信する場合:

- 緑色の LED が点滅します。

- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。



注：

無線機の設定方法に応じて、個別コールに応答する OACSU または FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) がユーザーの確認応答を必要とする場合と必要としない場合があります。

OACSU 設定では、無線機は自動的にミュートを解除して通話を開始します。

5.8.3.4

個別コールの受信

FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) として設定された個別コールを受信する場合：

- 緑色の LED が点滅します。

- 1 個別コールを許可するには、以下の操作を行います。
 - 任意のエントリで **PTT** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

- 2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。



注：

通話の発信者と受信者のどちらでも、プログラムされた【キャンセル】ボタンを押すことによって、進行中の個別コールを終了できます。

5.8.3.5

個別コールの拒否

FOACSU (Full Off Air Call Set-Up) として設定された個別コールを受信する場合：

- 緑色の LED が点滅します。

個別コールを拒否するには、以下の操作を行います。

- プログラムされた【キャンセル】ボタンを押します。

5.8.4

一斉コール

一斉コールは、システム設定に応じて、1 台の無線機からサイトの各無線機またはサイト グループの各無線機へのコールです。

一斉コールは、ユーザーの注意を十分に促す必要がある重要な通知に使用されます。システムのユーザーは、一斉コールには応答できません。

Capacity Max は、サイト一斉コールとマルチサイト一斉コールをサポートしています。システム管理者は、無線機でこれらのいずれかまたは両方を設定できます。



注：

無線機は、システム全体への一斉コールをサポートできますが、Motorola Solutions インフラストラクチャは、システム全体への一斉コールをサポートしません。

5.8.4.1

一斉コールの受信

一斉コールを受信すると、以下の状態になります。

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。

- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信側無線機が **[PTT]** ボタンを放したときに、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが使用できるようになったことを示しています。一斉コールには応答できません。



注：

通話を受信中に別のチャンネルに切り替えると、無線機は一斉コールの受信を停止します。一斉コール中、通話が終了するまで、プログラムされたボタン機能のいずれも続行できません。

5.8.4.2

一斉コールの発信

一斉コールを発信するには無線機をプログラムする必要があります。

- 1 アクティブな一斉コール グループのエイリアスまたは ID があるチャンネルを選択します。 [通話タイプの選択 ページ 38](#) を参照してください。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

チャネルのユーザーは、一斉コールには応答できません。

ブロードキャストの発信者は、プログラムされた【キャンセル】ボタンを押して、一斉コールを終了できます。

- アクセス コード
- デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーン
- ディアクセス コード
- 電話通話受信時の発信者のエイリアスまたは ID の表示
- 電話通話を受けるか受けないかを選択できる機能

電話通話機能は、システムで電話番号を割り当てて設定することによって有効にすることができます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、システム管理者に確認してください。

5.8.5.1

電話通話の発信

下記の手順に従って、無線機で通話を発信します。

5.8.5

電話通話

電話通話は、個別の無線機または無線機グループと電話機との間の通話です。

無線機の設定方法によって、以下の機能が利用できる場合とできない場合があります。

5.8.5.2

プログラム可能なボタンで電話通話を行う

下記の手順に従って、プログラム可能なボタンで通話を行います。

- 1 プログラムされた **[TEL]** ボタンを押します。通話エントリ リストが表示されます。
- 2 または を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに 電話通話 アイコン、無線機のエイリアスまたは ID、通話ステータスが表示されます。

通話設定に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのキャッチホン トーンが鳴ります。
- ディスプレイに 電話通話 アイコン、無線機のエイリアスまたは ID、**[でんわつうわ]**、通話ステータスが表示されます。

通話設定に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに **[でんわ NG]** と表示されます。
- アクセス コード入力画面に戻ります。アクセスコードが **[れんらくさき]** リストで事前に設定されている場合、そのコールを開始する前の画面に戻ります。

- 3 話すには、**PTT** ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

- 4 通話を終了するには、 を押します。

通話終了設定に成功するとトーンが鳴り、ディスプレイに **[でんわしゅうりょう]** と表示されます。

通話終了設定に失敗すると、通話画面に戻ります。

通話連絡先画面で **PTT** ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに **[コール OK]** と表示されます。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに『でんわしゅうりょう』と表示されます。



注：

チャンネル アクセス中に を押すと、コール試行が解除され、トーンが鳴ります。

コール中、ディアクセス コードが事前設定されている状態でワンタッチ アクセス ボタンを押すか、追加の数字の入力としてディアクセス コードを入力すると、コールの終了が試行されます。

-
- 5 ● チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴ります。

通話中に、事前に設定されているアクセス解除コードを使用してワンタッチ アクセス ボタンを押すと、無線機は通話を終了します。

5.8.5.3

一斉コールとして電話通話への応答

一斉コール通話を受信したときは、受信無線機はトークバックも応答もできません。また受信ユーザーは、一斉コールを終わらせることもできません。

一斉コール通話を受信した場合：

- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

5.8.5.4

グループ コールとして電話通話への応答

下記の手順に従って、無線機でグループ コール通話に応答します。

グループ コール通話を受信した場合：

- 緑色の LED が点滅します。

- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

3 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。



注：

お使いの無線機では、電話通話をグループコールとして終了することはできません。電話機ユーザーが通話を終了する必要があります。受信ユーザーは、通話中にトークバックのみを行うことができます。

短いトーンが聞こえます。

5.8.5.5

個別コールとして電話通話への応答

下記の手順に従って、無線機で個別コール通話に応答します。

個別コール通話を受信した場合：

- 緑色の LED が点滅します。

- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

3 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。



注：

お使いの無線機では、電話通話をグループコールとして終了することはできません。電話機ユーザーが通話を終了する必要があります。受信ユーザーは、通話中にトークバックのみを行うことができます。

短いトーンが聞こえます。

5.8.6

通話割り込みの開始

次の操作を実行すると、進行中の通話が中断されません。

- 音声 **PTT** ボタンを押します。
 - 緊急ボタンを押します。
-

5.8.7

割り込み通話

割り込み通話では、無線機が実行中の音声送信を停止し、優先送信を開始できます。

割り込み通話機能により、システムは、トランキング チャネルを利用できない場合に、進行中の通話に割り込みます。

緊急通話や一斉コールのような優先度の高い通話は、無線機が送信中でも割り込みが許可されているため、より優先度の高い通話に対応することができます。他の無線周波数 (RF) チャネルが利用できない場合、緊急通話は一斉コールにも割り込みます。

5.8.8

音声割り込み

音声割り込み機能を使うと、進行中の音声送信を停止することができます。

この機能では、割り込みを行う無線機が音声割り込み可能に設定され、送信を行う無線機が音声通話割り込み可能に

設定されている場合に、逆チャネル シグナリングを使用し、進行中の音声送信を停止します。その後、割り込みを行う無線機は、停止された通話の参加者へ音声送信を行うことができます。

音声割り込み機能によって、通話中の対象者に対して新たに送信を行う成功率が大幅に上がります。

ユーザーが音声割り込み機能にアクセスできるのは、この機能が無線機で設定されている場合のみです。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.8.8.1

音声割り込みの有効化

下記の手順に従って、無線機で音声割り込みを開始します。

この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

- 1 通話中に送信に割り込むには、**[PTT]** ボタンを押します。

[PTT] ボタンが放されるまで、ネガティブ インジケータ トーンが鳴り続けます。

2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

5.9

高度な機能

この章では、無線機で利用できる機能の操作について説明します。

ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.9.1

通話キュー

通話の処理に利用できるリソースがない場合、通話キューによって、次に利用可能なリソースのシステム キューに通話リクエストを加えることができます。

PTT ボタンを押すと、通話キュー トーンが鳴り、無線機の画面に『待機中の通話』と表示されて、無線機が通話キュー状態に入ったことを示します。通話キュー トーンが鳴ったら **[PTT]** ボタンを放してかまいません。

通話設定が成功すると、以下の状態になります。

- 有効にした場合、通話許可トーンが鳴ります。
- 無線機のユーザーは、4 秒以内に **[PTT]** ボタンを押して音声通信を開始します。

通話設定に失敗すると、以下の状態になります。

- 有効にした場合、拒否トーン音が鳴ります。
- 通話が終了し、無線機は通話設定を終了します。

5.9.2

優先通話

優先通話を使用すると、システムは、すべてのチャンネルがビジー状態のとき、優先通話ではない通話のいずれかを阻止し、高優先の通話を開始することができます。

すべてのチャンネルが高優先の通話で占有されている場合は通話を阻止せず、要求されている高優先度の通話を通話キューに入れます。システムが、要求されている高優先度の通話を通話キューに入れられない場合は失敗の通知を発生します。

優先通話のデフォルト設定は、事前に設定されています。プログラム可能ボタンを押して、通常の優先度と高優先を切り替えます。以下の機能を使用する場合、通話の優先度は自動的に事前設定されていたレベルに戻ります。

- すべての音声通話
- DMR III テキスト メッセージ/テキスト メッセージ
- ワーク チケット
- リモート モニタ

優先通話の種類は以下のとおりです。

高優先

無線機には、[つぎのつうわ: [高優先]]と表示されます。

無線機のディスプレイ上部に 通話優先度: 高 アイコンが表示されます。

次の通話: 通常優先の音声ガイドが流れます。

通常優先

無線機には、[つぎのつうわ: [通常優先]]と表示されます。

通話優先度: 高 アイコンが消えます。

次の通話: 通常優先の音声ガイドが流れます。

5.9.3

ホーム チャンネル リマインダ

これは、無線機が一定期間ホーム チャンネルにセットされていない場合に通知を出す機能です。

この機能を有効にしている場合は、無線機が一定期間ホーム チャンネルにセットされていないと、以下の動作が定期的に繰り返されます。

- ホーム チャンネル リマインダ トーンが鳴り、音声ガイドが聞こえます。

次のいずれかの操作を実行して、この通知に応答できます。

- ホーム チャンネルに戻る。

- プログラム可能ボタンを使用して、通知を一時的にミュートする。
- プログラム可能ボタンを使用して、新しいホーム チャンネルを設定する。

5.9.3.1

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダが鳴った場合に、リマインダを一時的にミュートできます。

プログラムされた ホーム チャンネル リマインダのミュート ボタンを押します。

5.9.3.2

新しいホーム チャンネルの設定

ホーム チャンネル リマインダが通知された場合は、新しいホーム チャンネルをセットできます。

ホーム チャンネルのリセット プログラム可能ボタンを押して、現在のチャンネルをホーム チャンネルとしてセットします。

5.9.4

【リモート モニタ】

この機能を使用して、特定の無線機のエイリアスまたは ID を持つターゲットの無線機のマイクをオンにします。この機能を使用することで、ターゲット無線機の周りのあらゆる音声アクティビティをリモートでモニタできます。

この機能を使用するには、お使いの無線機とターゲット無線機の両方をプログラムする必要があります。

開始されると、ターゲットの無線機で緑色の LED が 1 回点滅します。この機能は、プログラムされた期間、または相手の無線機でユーザーが何らかの操作を実行したとき、自動的に停止します。

5.9.4.1

リモート モニタの開始

下記の手順に従って、無線機でリモート モニタを開始します。

- 1 プログラムされた【リモート モニタ】ボタンを押します。
-

2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

5.9.5

グループ スキャン

この機能を使用すると、無線機では、受信グループ リストに定義されているグループのコールをモニタし、これに参加できます。

スキャンが有効になっていると、受信グループ リストのメンバーに対しては、無線機のミュートが解除されます。

スキャンが無効になっていると、無線機は受信グループ リストのメンバーからの通話を、一斉コール、常設グループ、および選択されているグループの場合を除いて受信できません。

5.9.5.1

グループ スキャンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でグループ スキャンのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた【スキャン】ボタンを押します。

スキャンが有効になっている場合:

- 黄色の LED が点滅します。
- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

スキャンが無効になっている場合:

- LED がオフになります。
- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

5.9.6

受信グループ リスト

受信グループ リストは、グループ スキャン リストのメンバーの作成と割り当てができる機能です。

このリストは無線機がプログラムされる場合に作成され、このリストによって、スキャンできるグループが決まります。

す。お使いの無線機は、このリストに含まれる 16 名まで対応できます。

グループが常設グループとしてプログラムされていると、グループはスキャン リストから編集できません。



注：
受信グループ リストは、システム管理者がプログラムします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.9.7

優先度モニタ

優先度モニタ機能を使用すると、無線機は、グループ コール中でも優先度の高いグループからのコールを受信すると、自動的にコールを切り替えます。

無線機は、優先度の低いグループのコールを止めて、優先度の高いグループのコールに切り替えます。



注：
この機能は、グループ スキャン機能が有効な場合にのみアクセスできます。

優先度モニタ機能は、受信グループ リストに含まれるメンバーのみに適用されます。優先度グループには、優先度 1 (P1) と優先度 2 (P2) の 2 つがあります。P1 が P2 よりも

優先します。Capacity Max システムでは、無線機は次の優先順序に従って通話を受信します。

- 1 P1 グループの緊急コール
- 2 P2 グループの緊急コール
- 3 受信グループ リスト内の非優先グループの緊急コール
- 4 一斉通話
- 5 P1 グループ コール
- 6 P2 グループ コール
- 7 受信グループ リスト内の非優先グループ



注：
この機能は、システム管理者がプログラムします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.9.8

複数グループの加入

無線機に 1 サイトで最大 7 つのグループを設定できます。

受信グループ リスト内の 16 グループのうち、最大 7 つのグループを加入グループとして割り当てできます。選択し

たグループおよび優先度グループは、自動的に加入として処理されます。

5.9.9

トークバック

トークバック機能を使用すると、スキャンの実行中に送信に応答できます。

選択可能なグループ スキャン リストで通話をスキャンしていて、その通話中に **[PTT]** ボタンを押した場合、無線機の動作は、無線機のプログラミングの間にトークバックが有効だったか無効だったかに応じて決まります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

トークバック無効

無線機がスキャンされた通話を終了し、現在選択されているチャンネル位置の連絡先名に基づいて送信を行います。現在選択されている連絡先のコール ハング タイムの期限が切れた後、無線機はホーム チャンネルに戻り、スキャン ハング タイム タイマーを開始します。スキャン ハング タイム タイマーの期限が切れた後、無線機はグループ スキャンを再開します。

トークバック有効

スキャンされた通話のグループ ハング タイム中に **PTT** ボタンを押すと、無線機はスキャン グループへの送信を試みます。



注：

現在選択されているゾーン内のチャンネル位置に割り当てられていないグループに対する通話をスキャンしていて、通話が終了した場合、適切なゾーンに切り替えてから、グループのチャンネル位置を選択し、そのグループにトーク バックします。

5.9.10

通信インジケータ設定

この機能を使用すると、通信やテキスト メッセージの着信音を設定できます。

5.9.10.1

アラーム トーンの音量を上げる

ディーラーは、無線機通信に応答がない状態が続くと継続的に警告を発信するようにプログラムできます。時間が経

つにつれて、アラーム トーンは自動的に大きくなります。
この機能はステップ アラートとして知られています。

5.9.11

ページング操作

ページング機能により、相手が応答できる状態になったら
かけ直すよう、特定の無線機ユーザーに警告できます。

この機能には、プログラムされたワン タッチ アクセス ボタ
ンからアクセスできます。

Capacity Max では、ページング機能を使用して、無線機の
ユーザーまたはディスパッチャが別の無線機ユーザーにア
ラートを送信し、時間があるときに発信ユーザーにコール
バックするよう依頼することができます。本機能は音声通
信を使用しません。

ページング操作は、ユーザーが **[PTT]** ボタンを押して個別
コールをかけることにより、通話の発信者に直接応答でき
るようにディーラーまたはシステム管理者が設定できま
す。

OACSU (Off Air Call Set-Up) 個別コールを使用すると、ユ
ーザーは迅速に応答できますが、FOACSU (Full Off Air Call
Set-Up) 個別コールでは、通話にユーザーの確認応答が必要
になります。そのため、ページング機能には OACSU タイ

プの通話を使用することが推奨されています。個別コール
ページ 44 を参照してください。

5.9.11.1

ページングへの応答

ページングを受信した場合：

- 反復トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。

ページングのページを受信してから 4 秒以内に
[PTT] ボタンを押して、個別通信に応答します。

5.9.11.2

ページングの発信

下記の手順に従って、無線機でページングを発信します。

- 1 プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押
します。

緑色の LED が点灯します。

2 確認応答を待ちます。

ページング承認を受信した場合は、ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

ページング承認を受信していない場合は、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

5.9.12

ミュート モード

ミュート モードでは、無線機のすべての音声インジケータを無音にできます。

ミュート モードを開始すると、緊急操作などの優先度の高い機能を除くすべての音声インジケータがミュートされます。

ミュート モードを終了すると、無線機で、継続中のトーンおよび音声の再生が再開されます。



重要：

一度に有効にできるのは、フェイス ダウンかマン ダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。

5.9.12.1

ミュート モードの有効化

下記の手順に従って、ミュート モードを有効にします。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- この機能には、プログラムされた【ミュート モード】ボタンからアクセスします。
- 無線機の前面を 1 回だけ下に向けると、この機能にアクセスできます。

無線機のモデルによっては、フェイス ダウン機能はラジオ メニューを使用して有効にするか、システム管理者が有効にします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。



重要：

一度に有効にできるのは、マンダウンとフェイス ダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。



注：

フェイス ダウン機能は、XiR E8608i のみに該当します。

ミュート モードを有効にすると、次のことが発生します。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- 赤色の LED ライトの点滅が開始し、ミュート モードが終了するまで点滅したままになります。
- 無線機がミュートになります。
- ミュート モード タイマーが、設定された時間のカウント ダウンを開始します。

5.9.12.2

ミュート モードの終了

この機能は、ミュート モード タイマーの時間が切れると、自動的に終了します。

ミュート モードを手動で終了するには、次のいずれかの操作を実行します。

- プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押します。
- 任意のエントリで **PTT** ボタンを押します。
- 無線機の前面を 1 回だけ上に向けます。



注：

フェイス ダウン機能は、XiR E8608i のみに該当します。

ミュート モードを無効にすると、次のことが発生します。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- 点滅する赤い LED が消灯します。
- 無線機のミュートが解除され、スピーカーが元の状態に戻ります。
- タイマーの時間が切れていない場合、ミュート モード タイマーが停止します。



注：

ユーザーが音声を送信した場合や、プログラムされていないチャンネルに切り替えた場合も、ミュート モードは終了します。

5.9.13

緊急操作

重大な状況を示すために、緊急アラームが使用されます。いつでも、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、緊急操作を開始できます。

Capacity Max では、受信中の無線機は一度に 1 つのみの緊急アラームをサポートできます。2 つ目の緊急アラームが開始されると、1 つ目のものより優先されます。

緊急アラームを受信したときに、受信者はアラームを削除してアラーム リストを終了することも、**PTT** ボタンを押して非緊急の音声を送信して緊急アラームに応答することもできます。

ディーラーまたはシステム管理者は、プログラムされた【緊急】ボタンの押し下げ時間を設定できます。ただし、他のボタンと同様、長押しは除きます。

短押し

0.05 ～ 0.75 秒の間

長押し

1.00 ～ 3.75 秒の間

緊急ボタンには、緊急のオン/オフ機能が割り当てられています。緊急ボタンに割り当てられている操作については、ディーラーに確認してください。



注：

緊急ボタンの短押しに緊急モードのオンを割り当てると、緊急ボタンの長押しには緊急モードの終了が割り当てられます。

緊急ボタンの長押しに緊急モードのオンを割り当てると、緊急ボタンの短押しには緊急モードの終了が割り当てられます。

お使いの無線機は、3 つの緊急アラームをサポートしています。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム

また、各アラームには以下のタイプがあります。

レギュラー

無線機がアラーム信号を送信し、音声インジケータと視覚的インジケータのいずれかまたは両方で示されます。

サイレント

無線機がアラーム信号を送信しますが、音声インジケータも視覚的インジケータも示されません。無線機の **PTT** ボタンを押すまで、スピーカから音が出ることなくコールを受信します。

音声付きサイレント

音声または視覚的インジケータなしにアラーム信号を送信しますが、着信通話の音はスピーカから聞こえます。



注：

上記の緊急アラームのいずれか 1 つのみを、プログラムされた **【緊急】** ボタンに割り当てることができます。

5.9.13.1

緊急アラームの送信

この機能では、音声信号ではない緊急アラームを送信します。この機能を使用して、無線機グループにアラートを通知できます。下記の手順に従って、無線機で緊急アラームを送信します。

お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中にオーディオや視覚的インジケータは一切表示されません。

- 1 プログラムされた **【緊急オン】** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。



注：

プログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。緊急検索トーンはディーラーまたはシステム管理者がプログラムできます。

2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合：

- 緊急トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。

再試行がすべて失敗して処理が正常に行われなかった場合：

- 低いトーンが鳴ります。(PMUE4426B にのみ適用されます)

無線機が緊急アラーム モードを終了します。



注：

緊急アラームのみに構成されている場合、緊急プロセスは緊急アラームの提供からのみ構成されます。緊急状態は、システムから確認を受けるか、チャネルアクセスの試行回数を終えると終了します。

緊急アラームのみとして機能する場合、音声通話は緊急アラームの送信に関連付けられません。



注：

無線機がプログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。

緊急アラームの確認応答の受信に成功すると：

- 緊急トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。

緊急アラームの確認応答の受信に失敗すると：

- すべての再試行が終了します。
- 低いトーンが鳴ります。
- 無線機が緊急アラーム モードを終了します。

5.9.13.2

通話による緊急アラームの送信

この機能では、通話による緊急アラームを無線機グループまたはディスパッチャに送信します。グループ内のインフラストラクチャから確認応答があると、無線機グループは、プログラムされた緊急チャネルで通信できます。

無線機は、アラーム プロセス後に緊急通話を行うために、緊急アラームと通話を設定しておく必要があります。

- 1 プログラムされた **[緊急オン]** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

- 2 **PTT** ボタンを押して音声送信を開始します。

緑色の LED が点灯します。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

5 電話に応答するには、**[PTT]** ボタンを押します。

チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

6 緊急オフ ボタンを押して、緊急モードを終了します。



注：

通話許可トーンが鳴るかどうかは、無線機のプログラムによって異なります。緊急に関する無線機のプログラム内容の詳細については、無線機のディーラーまたはシステム管理者にお問い合わせください。

緊急通話の発信者は、プログラムされた **[キャンセル]** ボタンを押して、進行中の緊急通話を終了できます。無線機は通話アイドル状態に戻ります。

5.9.13.3

緊急アラームと音声ガイドの送信

この機能では、緊急アラームと音声ガイドを無線機グループに送信します。無線機のマイクは自動的に有効になり、**PTT** ボタンを押さずに無線機グループと通信できます。このアクティブな状態のマイクを "ホット マイク" と呼びます。

緊急サイクル モードが有効な場合、プログラムされた期間、"ホット マイク" と受信期間が繰り返されます。緊急サイクル モードでは、受信コールの音はスピーカから聞こえます。

プログラムされた受信期間に **PTT** ボタンを押すと、通話禁止音が聞こえます。これは、**PTT** ボタンを放す必要があることを示します。**PTT** ボタンが押されたことは無視され、緊急モードが保たれます。

ホット マイク が有効なときに **[PTT]** ボタンを押し、ホット マイク の期限が切れた後もそのまま押し続けていた場合は、**[PTT]** ボタンを放すまで無線機は送信を続けます。

緊急アラームのリクエストに失敗すると、無線機はそのリクエストを再送信せず、直接 "ホット マイク" 状態に入ります。



注:

"ホット マイク" を使用できないアクセサリもあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

下記の手順に従って、無線機で緊急アラームと音声ガイドを送信します。

- 1 プログラムされた [緊急オン] ボタンを押します。
緑色の LED が点灯します。

- 2 緊急トーンが鳴ったら、マイクに向かってはっきりと話します。

次の場合、無線機は自動的に送信を終了します。

- 緊急サイクル モードが有効で、"ホット マイク" と通話受信のサイクルの期限が切れた場合。
- 緊急サイクル モードが無効で、"ホット マイク" の期限が切れた場合。

- 3 緊急オフ ボタンを押して、緊急モードを終了します。

5.9.13.4

緊急アラームの受信

受信側無線機は一度に 1 つのみの緊急アラームをサポートできます。2 つ目の緊急アラームが開始されると、1 つ目のものより優先されます。下記の手順に従って、無線機で緊急アラームを受信して閲覧します。

緊急アラームを受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。



注:

無線は、緊急アラームを自動的に認識します (有効な場合)。

トーンはミュートすることができます。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 緊急アラームを受信した無線機グループを呼び出すには、**PTT** ボタンを押します。
- プログラム可能ボタンを押します。

- 緊急モードを終了します。

5.9.13.5

緊急モードの終了

プログラムされた【緊急オフ】ボタンを押します。

無線機には次の通知が表示されます。

- トーンが停止しました。
- 赤色の LED が消灯しました。

5.9.14

ステータス メッセージ

この機能を使用すると、ステータス メッセージを他の無線機に送信できます。

CPS-RM を使用してクイック ステータス リストを設定し、最大 99 のステータスを含めることができます。

各ステータス メッセージの最大長は、16 文字です。

音声変換機能が有効になっていると、無線機で受信したステータス メッセージを音声で知らせることができます。



注：
音声変換は、CPS を使用して設定します。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

5.9.14.1

ステータス メッセージの送信

下記の手順に従って、ステータス メッセージを送信します。

プログラムされた【ワンタッチ アクセス】ボタンを押します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- LED がオフになります。

5.9.15

マルチサイト コントロール

この機能は、現在の無線機チャネルが Capacity Max システムに対して設定されている場合に適用されます。

5.9.15.1

手動サイト検索の有効化

プログラムされた【手動ローミング】ボタンを押します。

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。

無線機が新しいサイトを見つけると、無線機には次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。

無線機が新しいサイトを見つけられない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。

- LED が消灯します。

5.9.15.2

サイト ロック オン/オフ

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

プログラムされた【サイト ロック】ボタンを押します。

【サイト ロック】機能をオンに切り替えると、

- ポジティブ インジケータ トーンが聞こえて、無線機が現在のサイトにロックされていることを示しています。

【サイト ロック】機能をオフに切り替えると、

- ネガティブ インジケータ トーンが聞こえます。無線機のロックが解除されていることを示しています。
-

5.9.16

プライバシー

この機能は、ソフトウェアベースのスクランブルソリューションの使用により、不正なユーザーによる盗聴を防ぐのに役立ちます。送信のシグナリングおよびユーザー識別の部分はスクランブルされません。

秘話モード対応で送信するには、無線機のチャンネルに秘話モードを設定する必要があります。ただし、秘話モードを設定していなくても受信はできます。秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな送信、つまりスクランブルされていない送信を引き続き受信できます。

無線機はスクランブル秘話モードをサポートします。(この機能を使うには、ソフトウェアのライセンス キーを別途購入する必要があります)

秘話対応の通話またはデータ送信のスクランブルを解除するには、送信側の無線機と同じ秘話モード用キー値およびキー ID を無線機にプログラムする必要があります。

無線機が別のキー値およびキー ID によるスクランブル通話を受信すると、スクランブル秘話では何も聞こえません。

無線機のプログラム方法に応じて、秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな通話、つまりスクランブルされていない通話を受信できます。さらに、無線機のプログラ

ム方法に応じて、警告音を鳴らすことも鳴らさないこともできます。

無線機が送信しているとは、緑色の LED が点灯します。無線機が進行中の秘話対応通話を受信しているときは、LED が素早く点滅します。



注：

無線機のモデルによっては、この秘話モード機能がない場合や、構成が異なる場合があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.9.16.1

秘話モードのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で秘話モードのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた【ひわモード】ボタンを押します。

5.9.17

応答禁止

この機能を使用すると、無線機が着信通信に応答しないようにすることができます。



注:

無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

有効にすると、無線機は着信通信に응答して送信通信を生成しません(無線機チェック、ページング、無線停止、リポート モニタ、自動登録サービス (ARS)、プライベート メッセージへの応答など)。

この機能が有効になっていると、無線機は個別通信の確認を受信できません。ただし、無線機で手動による送信を行うことはできます。

5.9.17.1

応答禁止の有効化または無効化

無線機の応答禁止を有効または無効にするには、次の手順に従います。

プログラムされた【おうとうきんし】ボタンを押します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

5.9.18

機能停止/復帰

この機能では、システム内の任意の無線機の有効、無効を切り替えられます。たとえば、ディーラーやシステム管理者が、盗難にあった無線機を無効にして不正ユーザーが使用できないようにし、無線機を回収したら有効にしたい場合があります。

無線機を無効化(機能停止)または有効化(復帰)するには、コンソールを使用するか、別の無線機が開始したコマンドを使用します。

無線機が無効になると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

無線機が機能停止状態の場合、受信機は機能停止手順が実行されたシステムでユーザーが開始したあらゆるサービス

を要求または受信できません。ただし、無線機は別のシステムに切り替えることができます。機能停止状態であっても、無線機は GNSS 位置報告を送信し続けるので、リモートでモニタできます。



注:

ディーラーやシステム管理者は、無線機を永久に無効にすることができます。詳細については、[無線終了 ページ 72](#) を参照してください。

5.9.19

無線終了

この機能は、無線機への不正アクセスを制限するための拡張セキュリティ対策です。

無線終了を使用すると、無線機が操作不能になります。たとえば、盗まれた無線機や誤って配置された無線機が不正に使用されるのを防ぐために、ディーラーが無線機を終了したい場合があります。



注:

終了済みの無線機は、Motorola Solutions のサービスステーションでのみ復帰させることができます。詳細については、ディーラーにお問い合わせください。

5.9.20

72

ローン ワーカー

この機能は、事前に定義された期間に、無線機のボタンの押下やチャンネル セレクタの使用などのユーザー操作がない場合に、緊急アラームを発します。

プログラムされた期間にユーザーによる操作がなく、無操作タイマーの時間が経過すると、無線機は音声インジケータでユーザーに最初の警告を発します。

事前に定義された通知タイマーの時間が経過しても確認応答がない場合、無線機はディーラーがプログラムした緊急状況を開始します。

5.9.21

パスワード ロック

パスワードを設定して、無線機へのアクセスを制限できます。無線機の電源を入れるたびに、パスワードを入力するように求められます。

無線機では、4 桁のパスワード入力を使用できます。

これらのボタンは、パスワードを入力するときに数字キーパッドとして機能します。

チャンネル セレクタ ノブ

ポジション 1 ~ 9: 数値 1 ~ 9

ポジション 10: 数値 10

サイド ボタン

サイド ボタン 1 および 2: 数値 1 および 2。

ロック状態の無線機は、通信を受信できません。

5.9.21.1

パスワードを使用した無線機へのアクセス

無線機の電源を入れます。

- 1 4桁のパスワードを入力します。
 - a パスワードの最初の数値を入力するには、チャンネルセレクト ノブ を使用します。
 - b パスワードの残りの 3 桁の各数値を入力するには、サイド ボタン 1 または 2 を押します。

- 2 パスワードの最後の桁の数値を入力すると、無線機はパスワードの有効性を自動的にチェックします。

パスワードを正しく入力すると、無線機の電源が入ります。

1 回目と 2 回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴り続けます。

ステップ 1 を繰り返します。

3 回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が 2 回点滅します。
- 無線機は 15 分間ロック状態になります。

ロック状態の 15 分タイマーが終了するのを待ってから、ステップ 1 を繰り返します。



注：
無線機の電源を切ってから再度入れると、15 分タイマーが再起動します。

5.9.21.2

ロック状態の無線機をロック解除する

ロック状態の無線機は、コールを受信できません。下記の手順に従って、ロック状態の無線機をロック解除します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の電源がオンになっている場合には、15 分待ってから **パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 73** の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。
- 無線機の電源がオフになっている場合には、無線機の電源をオンにします。ロック状態の 15 分タイマーが再起動されます。
トーンが鳴ります。黄色の LED が 2 回点滅します。
15 分待ってから **パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 73** の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。

5.9.22

Bluetooth®

Bluetooth 接続を介して、お使いの無線機と Bluetooth 対応デバイス (アクセサリ) を連携できます。お使いの無線機では、Motorola Solutions 製および COTS (市販既製品) の両方の Bluetooth 対応デバイスをサポートしています。

Bluetooth は、直線距離 10 メートル (32 フィート) の範囲内で動作します。これは、無線機と Bluetooth 対応デバイスとの間に障害物が何もない場合の距離です。信頼性を高めるために、Motorola Solutions では無線機とアクセサリを離さないことをお勧めします。

受信不良地域では、音声とトーン両方が「不明瞭」または「割れて」聞こえるようになります。この問題を解決するには、無線機と Bluetooth 対応デバイスを規定の 10 メートル以内に近づけて、明瞭な音声受信を再確立してください。無線機の Bluetooth 機能の最大出力は、10 メートル範囲で 2.5mW (4dBm) です。

無線機は、異なる種類の Bluetooth 対応デバイスとの Bluetooth 接続を同時に 3 接続までサポートできます。たとえば、ヘッドセット、スキャナ、センサー デバイス、および PTT 専用デバイス (POD) です。

Bluetooth 対応デバイスの全機能の詳細については、個々の Bluetooth 対応デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

無線機は、通信範囲内で信号強度が最も強い、または前のセッションで接続していた Bluetooth 対応デバイスに接続します。サーチ動作中および接続動作中は、Bluetooth 対応デバイスの電源を切ったり、[ホームへ戻る] ボタン を押したりしないでください。動作が取り消されます。

5.9.23

エア接続プログラミング

ディーラーは、エア接続プログラミング (OTAP) を使用して、物理的に接続することなく、無線機をリモートから更

新できます。さらに、一部の設定も OTAP から設定できます。

無線機が OTAP を実行中のときは、緑色の LED が点滅します。

大量データを受信した場合:

- チャネルがビジー状態になります。
- **PTT** ボタンを押すと、ネガティブ トーンが鳴ります。

プログラミングの更新が完了すると、トーンが鳴り、無線機が再起動します (電源がオフになり、再びオンになります)。

プログラミングの更新に失敗すると、トーンが鳴り、赤色の LED が 1 回点滅します。



注:

プログラミングの更新に失敗した場合は、無線機の電源をオンにするたびに、ソフトウェア更新に失敗したことを示すメッセージが表示されます。ソフトウェア更新失敗の表示を消去するために、最新のソフトウェアを使用して無線機を再プログラムするには、販売店にお問い合わせください。

Wi-Fi 操作

この機能で、Wi-Fi ネットワークをセットアップして接続できます。Wi-Fi は、無線機のファームウェア、コードプラグ、言語パックや音声ガイドなどのリソースの更新をサポートします。



注:

この機能は、XiR E8608i にのみ適用されます。

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

お使いの無線機は、WEP/WPA/WPA2 パーソナル Wi-Fi および WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi のネットワークに対応しています。

WEP/WPA/WPA2 パーソナル Wi-Fi ネットワーク

事前共有キー (パスワード) ベースの認証を使用します。

事前共有キーは、メニューまたは CPS/RM を使用して入力できます。

WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi ネットワーク

証明書ベースの認証を使用します。

無線機を証明書使って事前設定しておく必要があります。



注：

WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi ネットワークへの接続については、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンがディーラーまたはシステム管理者により割り当てられます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンの音声ガイドは、ユーザーの要件に応じて、CPS を使用してカスタマイズできます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

5.9.24.1

Wi-Fi のオン/オフの切り替え

プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンを押します。Wi-Fi のオンまたは Wi-Fi のオフの音声ガイドが聞こえます。

5.9.24.2

ネットワーク アクセス ポイントへの接続

Wi-Fi をオンにすると、無線がネットワーク アクセス ポイントに接続します。



注：

プログラムされた **[Wi-Fi ステータス照会]** ボタンがディーラーまたはシステム管理者によって割り当てられます。プログラムされた **Wi-Fi** ステータス照会 ボタンの音声ガイドは、ユーザーの要件に応じて、CPS を使用してカスタマイズできます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

WPA エンタープライズ Wi-Fi ネットワークのアクセス ポイントは、事前に設定されています。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

プログラムされた **Wi-Fi** ステータス照会 ボタンを押し、音声ガイドで接続ステータスを確認します。

Wi-Fi がオフ、Wi-Fi がオンで接続なし、または Wi-Fi がオンで接続ありの場合、音声ガイドが流れます。

5.9.25

動的グループ番号割当 (DGNA)

動的グループ番号割当 (DGNA) は、コンソールが無線で無線機に新しいグループを割り当てたり削除したりできる機能です。

コンソールが DGNA を無線機に割り当てると、無線機は DGNA モードになります。

- トーンが鳴ります。

コンソールが無線機から DGNA を削除すると、無線機は前のグループに戻ります。

- トーンが鳴ります。

無線機のプログラムに応じて、元のスキャン リスト チャンネルと DGNA 以外のグループを表示、編集、および聞き取ることができます。

無線機が DGNA モードになっている場合、[PTT] ボタンを押すと、現在の DGNA グループとのみ通信できます。以前の DGNA 以外のグループと通信するには、[ワンタッチ アクセス] ボタンをプログラムします。「[DGNA 以外の通話の発信 ページ 77](#)」を参照してください。



注：
無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

5.9.25.1

DGNA コールの発信

無線機が DGNA モードになっている場合、[PTT] ボタンを押して通話を発信します。

- DGNA トーンが鳴ります。



注：
無線機が DGNA モードではない場合に [ワンタッチ アクセス] ボタンを押すと、無線機からトーンが鳴り、エラーを示します。

5.9.25.2

DGNA 以外の通話の発信

- 1 プログラムされた [ワンタッチ アクセス] ボタンを押します。
 - ポジティブ トーンが鳴ります。

- ワンタッチ上書き通話の音声ガイドが流れます。



注：
無線機が DGNA モードではない場合に【ワンタッチ アクセス】ボタンを押すと、無線機からネガティブ トーンが鳴り、エラーを示します。

- 2 ネガティブ トーンが鳴る前に **[PTT]** ボタンを押します。



注：
トーンの後で **[PTT]** を押すと、DGNA グループへの通話が発信されます。

5.9.25.3

DGNA 通話の受信と応答

DGNA コールを受信した場合:

- DGNA トーンが鳴ります。
- 無線機のミュートが解除され、着信通話の音はスピーカから聞こえます。

- 1 電話に応答するには、**[PTT]** ボタンを押します。

- 2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

5.10

ユーティリティ

この章では、無線機で利用できるユーティリティ機能の操作について説明します。

5.10.1

無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え

着信緊急警告トーン以外の、すべての無線機トーンやアラートは、必要に応じて有効化および無効化できます。下記の手順に従って、無線機でトーン/アラートのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた **[全トーン/アラート]** ボタンを押します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- トーンおよびアラートがすべてオンになります。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- トーンおよびアラートがすべてオフになります。

5.10.2

音声ガイドのオンとオフの切り替え

この機能をオンにすると、ユーザーがゾーンとチャンネルを割り当てたときや、ユーザーがプログラム可能ボタンを押したときに、その内容を音声で知らせます。

この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。下記の手順に従って、無線機で音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた【音声ガイド】ボタンを押します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- トーンおよびアラートはすべてオンです。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- トーンおよびアラートはすべてオフです。

5.10.3

音声変換

音声変換機能は、ディーラーのみが有効にできます。音声変換が有効になっている場合、音声ガイド機能は自動的に無効になります。音声ガイドが有効になっている場合、音声変換機能が自動的に無効になります。

この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。

5.10.3.1

音声変換の設定

下記の手順に従って、音声変換機能を設定します。

プログラムされた【おんせいへんかん】ボタンを押して、受信したテキスト メッセージを聞きます。

5.10.4

インテリジェント オーディオのオンとオフの切り替え

定常騒音源と非定常騒音源の両方を含む、周辺環境の背景雑音が大きの場合、それに負けないように音量を自動的に調整します。これは受信側の限定機能であり、送信音声は影響を受けません。下記の手順に従って、無線機でインテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた **[Int オーディオ]** ボタンを押します。



注：

この機能は、Bluetooth セッションでは使用できません。

プログラムされた **[トリル拡張]** ボタンを押して、この機能のオンとオフを切り替えます。

正常に行われた場合：

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- トーンおよびアラートはすべてオンです。

正常に行われなかった場合：

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- トーンおよびアラートはすべてオフです。

5.10.5

トリル拡張のオンとオフの切り替え

歯茎でのトリル音 (転がるような "R") の単語を多用する言語で話しているとき、この機能を有効にできます。下記の手順に従って、無線機でトリル拡張のオンとオフを切り替えます。

他のシステム

このシステムで無線機ユーザーが利用可能な機能については、この章で取り扱います。

6.1

プッシュトゥトーク ボタン

プッシュトゥトーク ボタン (PTT) ボタンには基本的に 2 つの目的があります。

- 通信中に **PTT** ボタンを使用して、通信に加わっている他の無線機に送信できます。**PTT** ボタンを押すと、マイクが有効になります。
- 通信中でないときは、新規通信を発信するために **[PTT]** ボタンを使用します (「[通信 ページ 41](#)」を参照)。

話すには、**PTT** ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

通信許可トーンまたは PTT サイドトーン  が有効となっている場合は、短い警告トーンが終了してから話します。

 お使いの無線機でチャンネル フリー通知機能が有効になっている (ディーラーによってプログラムされている) 場合、ターゲットの無線機 (通信を受けている無線機) で

[PTT] ボタンが放された瞬間に、短いアラート トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが空いて、応答できるようになったことを示します。

 通信が中断されると、継続した通信禁止音が聞こえます。通信禁止トーンが継続的に聞こえた場合は、**PTT** ボタンを放します。

6.2

プログラム可能ボタン

ディーラーは、プログラム可能ボタンに対して、ボタンを押す長さごとに、無線機能へのショートカットをプログラムできます。

短押し

押してすぐに離します。

長押し

プログラムされた時間の間、押し続けます。



注:

[きんきゅう] ボタンを押す長さをプログラミングする方法については、「[緊急操作 ページ 110](#)」を参照してください。

6.2.1

指定可能な無線機機能

無線機の以下の機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

音声切替

内部無線機スピーカと有線アクセサリ スピーカとの間のオーディオ ルーティングを切り替えます。

バッテリー残量

LED インジケータでバッテリーの強度を示します。

Bluetooth® オーディオ切り替え

内部無線機スピーカと外部 Bluetooth 対応アクセサリの間のオーディオ ルーティングを切り替えます。

Bluetooth 接続

Bluetooth の検出と接続の動作を開始します。

Bluetooth 切断

無線機と Bluetooth 対応デバイス間のすべての既存の Bluetooth 接続を終了します。

Bluetooth 検出可能

無線機を Bluetooth 検出可能モードに切り替えることができます。

通信転送

通信転送機能のオンとオフを切り替えます。

チャンネル アナウンスメント

現在のチャンネルのゾーンとチャンネル アナウンス音声メッセージを示します。

緊急モード

プログラムに応じて、緊急通信を開始またはキャンセルします。

インテリジェント オーディオ

インテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。

手動サイト ローミング²

手動サイト検索を開始します。

マイク AGC

内部マイクの自動ゲイン制御 (AGC) のオンとオフを切り替えます。Bluetooth セッションでは使用できません。

² Capacity Plus では利用できません。

モニタ

選択されたチャンネルのアクティビティをモニタします。

迷惑チャンネル削除²

選択されたチャンネルを除く不要なチャンネルをスキャンリストから一時的に削除します。選択されたチャンネルとは、スキャンの開始元として選択されたゾーンまたはチャンネルの組み合わせを指します。

ワンタッチ アクセス

事前に定義した個別通信、電話通話、グループ通信、ページング、またはホーム復帰を直接開始します。

連続モニタ²

機能が無効になるまで、選択されたチャンネルですべての無線機トラフィックをモニタします。

電話終了

電話通話を終了します。

プライバシー

秘話モードのオンとオフを切り替えます。

リピータ/ダイレクト²

リピータの使用と、別の無線機との直接的な通信とを切り替えます。

ホーム チャンネルのリセット

新規ホーム チャンネルを設定します。

ホーム チャンネル リマインダのミュート

ホーム チャンネル リマインダをミュートします。

スキャン³

スキャンのオンとオフを切り替えます。

サイト ロック²

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

強制停止

現在進行中の割り込み可能な通信を停止し、チャンネルを解放します。

トリル拡張

トリル拡張のオンとオフを切り替えます。

音声ガイド オン/オフ

音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

音声起動送信 (VOX)

VOX のオンとオフを切り替えます。

³ Capacity Plus—シングルサイトでは利用できません。

Wi-Fi

Wi-Fi のオンとオフを切り替えます。

ゾーン切り替え

ゾーン 1 とゾーン 2 の切り替えを無線機ユーザーに許可します。

6.2.2

指定可能な設定またはユーティリティ機能

無線機の以下の設定またはユーティリティ機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

トーン/アラート

全トーンとアラートのオンとオフを切り替えます。

パワー レベル

送信出力レベルの高低を切り替えます。

6.3

ステータス インジケータ

この章では、無線機で使用するステータス インジケータおよびオーディオ トーンについて説明します。

6.3.1

LED インジケータ

LED インジケータは、無線機の操作ステータスを示します。

赤色の点滅

無線機はバッテリーの不一致を示しています。⁴

電源投入時のセルフ テストに失敗しました。

緊急送信を受信しています。

低バッテリー状態で送信しています。

オートレンジ トランスポンダ システムで設定されている通信範囲から外れました。

ミュート モードが有効です。

緑色の点灯

無線機が電源オンになっています。

⁴ 最新のソフトウェアおよびハードウェアを搭載したモデルにのみ適用されます。

送信しています。

無線機はページングまたは緊急送信を送信しています。

プログラムされた【バッテリー強度】ボタンを押したときに、バッテリーが完全に充電されていることを示します。

緑色の点滅

通信またはデータを受信しています。

エア接続プログラミング送信を取得しています。

エア接続アクティビティを検出しています。



注：

このアクティビティによるプログラム済みチャネルへの影響は、デジタル プロトコルの特性によって異なります。

Capacity Plus のエア接続アクティビティを無線機が検出しているときは、LED 表示はありません。

緑色の 2 回点滅

秘話モード対応通信またはデータを受信しています。

黄色の点灯

従来型チャネルをモニタしています。

無線機が Bluetooth 検出可能モードになっています。

プログラムされた【バッテリー強度】ボタンを押したときに、十分なバッテリーが残っていることを示します。

黄色の点滅

アクティビティをスキャンしています。

ページングにまだ応答していません。

無線機のフレックス RX リストが有効になっています。

すべての Capacity Plus-マルチサイト チャネルがビジー状態です。

黄色の 2 回点滅

自動ローミング機能が有効です。

新規サイトを検索しています。

グループのページングにまだ応答していません。

ロックされています。

Capacity Plus の間は、無線機はリピータに接続されません。

すべての Capacity Plus チャネルがビジー状態です。

6.3.2

トーン

以下は、無線機のスピーカから鳴るトーンです。



高いトーン



低いトーン

6.3.2.1

インジケータ トーン

タスクを実行するアクションが行われた後、インジケータ トーンによりステータスが音声で通知されます。



ポジティブ インジケータ トーン



ネガティブ インジケータ トーン

6.3.2.2

オーディオ トーン

オーディオ トーンは、無線機の状態や無線機が受信したデータへの応答を音で知らせます。



連続トーン

モノ トーン音。終了まで連続音が鳴ります。



定期トーン

無線機で設定した期間、定期的に音が鳴ります。トーンが開始、中止、反復されます。



反復トーン

ユーザーが停止するまで、シングル トーンが繰り返されます。



瞬間トーン

無線機で設定した短いトーンが 1 回鳴ります。

6.4

ゾーンとチャネルの選択

この章では、無線機でゾーンまたはチャネルを選択する操作について説明します。ゾーンとは、チャネルのグループのことです。

無線機は最大 32 チャネルと 2 ゾーンをサポートします。1 ザーンの最大チャネル数は 16 です。

それぞれのチャネルでは、異なる機能をプログラムすることも、異なるユーザー グループをサポートすることもできます。

6.4.1

ゾーンの選択

下記の手順に従って、無線機で必要なゾーンを選択します。

プログラムされたゾーン切り替えボタンを押します。

次のトーンのいずれかが鳴ります。

ポジティブ インジケータ トーン

無線機はゾーン 2 にあります。

ネガティブ インジケータ トーン
無線機はゾーン 1 にあります。



注：

キーパッドがないすべての無線機では、ゾーン選択のために音声ガイド機能を有効にすることをお勧めします。音声ガイド機能は、CPS でのみ有効にできます。

6.4.2

チャネル選択

下記の手順に従って、無線機で必要なチャネルを選択します。

チャネル セレクタ ノブを回してチャネル、無線機の ID またはグループ ID を選択します。

6.5

通信

この章では、通信の受信、応答、発信、停止の操作について説明します。

以下の機能のいずれかを使用してチャンネルを選択した後、無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID を選択できます。

プログラムされた【ワン タッチ アクセス】ボタン

この方法は、グループ、個別、電話通信のみに使用します。

ワン タッチ アクセス ボタンでは、プログラム可能ボタンの短押しまたは長押しに、それぞれ単一の ID のみを割り当てできます。

プログラム可能ボタン

この方法は、電話通話のみに使用します (プログラム可能な [【TEL】ボタンで電話通話を行う ページ 96](#) 参照)。



注：

秘話対応通信のスクランブルを解除するには、無線機に送信側無線機 (受信中の通信の相手) と同一のプライバシー キー、または同一のキー値とキー ID (ディーラーがプログラミング) が設定されている必要があります。

詳細については、[プライバシー ページ 116](#) を参照してください。

6.5.1

グループ通信

ユーザー グループとの通話を受信/発信するには、無線機をそのグループの所属に設定する必要があります。

6.5.1.1

グループ通信への応答

ユーザー グループからの通信を受信するには、無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。下記の手順に従って、無線機でグループ通信に応答します。

グループ通信を受信した場合：

- 緑色の LED が点滅します。

- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
-  音声割り込み機能が有効になっている場合、**PTT** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

6.5.1.2

グループ通信の発信

下記の手順に従って、無線機でグループ通信を発信します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブなグループのエイリアス (名称) または ID のチャンネルを選択します。[チャンネル選択 ページ 87](#) を参照してください。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。

- #### 5 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

6.5.2

個別通信

個別通信とは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通信です。

個別通信には、2 つの設定方法があります。1 つは、無線機プレゼンス チェックの後で通信をセットアップする方法

で、もう 1 つは通信を即座に設定する方法です。ディーラーは、これらのタイプのいずれか 1 つのみを無線機にプログラムできます。

ページング機能を使用して、個別の無線機に連絡します。詳細については、[ページング操作 ページ 107](#) を参照してください。

6.5.2.1

個別通信への応答

下記の手順に従って、無線機で個別通信に応答します。

個別通信を受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

- 強制停止機能が有効になっている場合、**PTT** ボタンを押して進行中の割り込み可能通話を停止して、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

-
- 2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

-
- 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。

6.5.2.2

個別通信の発信

個別通信を開始するには無線機をプログラムする必要があります。この機能が無効な場合に通信を開始すると、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。下記の手順に従って、無線機で個別通信を発信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブな無線機のエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

-
- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

-
- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

-
- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

-
- 5 ● チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。

6.5.3

一斉コール

一斉コールとは、ある無線機からチャンネルの各無線機への通話を指します。一斉コールは、ユーザーの注意を十分に促す必要がある重要な通知に使用されます。チャンネルのユーザーは、一斉コールには応答できません。

6.5.3.1

一斉通信の受信

一斉通信を受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

一斉通信の場合、事前に定めた終了前の待機時間は適用されません。

🔊 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放したときに、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが使用できるようになったことを示しています。

一斉通信には応答できません。



注:

通信を受信中に別のチャンネルに切り替えると、無線機は一斉通信の受信を停止します。一斉通信が終了するまで、プログラムされたボタン機能のいずれも使用できません。

6.5.3.2

一斉コールの発信

一斉コールを発信するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で一斉コールを発信します。

- 1 アクティブな一斉コール グループのエイリアスまたは ID があるチャンネルを選択します。
- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
緑色の LED が点灯します。
- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

チャンネルのユーザーは、一斉コールには応答できません。

警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。

- 2 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
緑色の LED が点灯します。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。

6.5.4

選択コール

選択コールとは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通話です。アナログ システムでは、個別コールです。

6.5.4.1

選択コールへの応答

下記の手順に従って、無線機で選択コールに応答します。

選択コールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
 - 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。
- 1  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い

6.5.4.2

選択コールの発信

選択コールを開始するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で選択コールを発信します。

- 1 アクティブな無線機のエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

2 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。

5 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

トーンが鳴ります。

電話通話

電話通話は、個別の無線機から電話機への通話です。

無線機で電話通話機能が有効になっていない場合:

- 無線機の通話がミュートされます。
- 通話が終了すると、前の画面に戻ります。

電話通話中、次の場合に通話が終了します。

- 事前に設定されているディアクセス コードを使用してワンタッチ アクセス ボタンを押す。
- 追加の数字の入力としてディアクセス コードを入力する。

チャンネル アクセス中、コードのアクセス/アクセス解除中、または追加の数字の送信中、無線機はオン/オフ、音量コントロール、およびチャンネル セレクタの各ボタンやノブにのみ反応します。無効な入力を行うたびにトーンが鳴ります。



注:

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.5.5.1

グループ コールとして電話通話への応答

下記の手順に従って、無線機でグループ コール通話に応答します。

グループ コール通話を受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

2 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。
トーンが鳴ります。

6.5.5.2

個別コールとして電話通話への応答

下記の手順に従って、無線機で個別コール通話に応答します。

個別コール通話を受信した場合:

- 緑色の LED が点灯します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

2 音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。
トーンが鳴ります。

6.5.5.3

一斉コールとして電話通話への応答

一斉コール通話を受信した場合は、一斉コール タイプがチャネルに割り当てられている場合にのみ、通話の応答や終

了が可能です。下記の手順に従って、無線機で一斉コール通話に応答します。

一斉コール通話を受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

一斉コールの場合、事前に定めた終了前の待機時間は適用されません。

6.5.5.4

プログラム可能な [PTT] ボタンで電話通話を行う

下記の手順に従って、プログラム可能な [PTT] ボタンで通話を行います。

- 1 プログラムされた [PTT] ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。電話機ユーザーのダイアル トーンが聞こえます。

- 2 話すには、**PTT** ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

- 3  チャネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴ります。通話中に、事前に設定されているアクセス解除コードを使用してワン タッチ アクセス ボタンを押すと、無線機は通話を終了します。

6.5.6

通話割り込みの開始

次の操作を実行すると、進行中の通話が中断されます。

- 音声 **PTT** ボタンを押します。
- 緊急ボタンを押します。

- データ送信を実行します。

6.5.7

ブロードキャスト音声通信

ブロードキャスト音声通信は、ユーザーからグループ全体に対する一方向の音声通信です。

ブロードキャスト音声通信機能では、通信を開始したユーザーのみがグループへ送信でき、通信の受信者は応答できません (コール ハング タイムなし)。

この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.5.7.1

ブロードキャスト音声通話の発信

ブロードキャスト音声通話を行うように無線機をプログラムします。

- 1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。



注：

チャンネルのユーザーは、ブロードキャスト音声通話には応答できません。

通話が終了すると、前のメニューに戻ります。

6.5.7.2

ブロードキャスト音声通話の受信

ブロードキャスト音声通話を受信した場合：

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。

- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

ブロードキャスト音声通話の場合、事前に定めた終了前の待機時間は適用されません。

ブロードキャスト音声通話には応答できません。



注：

通話を受信中に別のチャンネルに切り替える場合、無線機はブロードキャスト音声通話の受信を停止します。ブロードキャスト音声通話が終了するまで、プログラムされたボタン機能を続行することはできません。

6.5.8

アドレスなし通信

未アドレス通信とは、事前に定義された 16 のグループ ID のいずれかに対するグループ通信です。

この機能は CPS-RM を使用して設定されます。アドレスなし通信を開始または受信するには、事前定義された ID のいずれかの連絡先が必要です。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.5.8.1

未アドレス通話の発信

- 1 アクティブなグループのエイリアス（名称）または ID のチャンネルを選択します。
- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
緑色の LED が点灯します。
- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
 - **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。
- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。瞬間トーンが鳴ります。
- 5 チャンネル フリー指示機能が有効な場合、送信無線機で **[PTT]** ボタンが放された瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるよ

うになったことを示します。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。
通話の発信者は、プログラムされた【キャンセル】ボタンを押して、グループ コールを終了できます。

- 音声割り込み機能が有効になっている場合、**[PTT]** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

6.5.8.2

未アドレス通話への応答

宛先なしコールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 瞬間トーンが鳴ります。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

6.5.9

オープン音声チャネル モード (OVCM)

オープン音声チャネル モード (OVCM) を使用すると、特定のシステムで動作するように事前に設定されていない無線機で、グループ通信または個別通信中に受信と送信の両方を行うことができます。

OVCM グループ通信はブロードキャスト通信にも対応しています。この機能を使用するように無線機をプログラムします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.5.9.1

OVCM コールの発信

OVCM コールを発信するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で OVCM コールを発信します。

- 1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。
緑色の LED が点灯します。

- 3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
 - **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

6.5.9.2

OVCM コールへの応答

OVCM コールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
 - チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
 - 音声割り込み機能が有効になっている場合、**[PTT]** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。
緑色の LED が点灯します。

- 2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

6.6

高度な機能

この章では、無線機で利用できる機能の操作について説明します。

ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.6.1

ダイレクトモード

この機能を使用すれば、リピータが作動していない場合や、お使いの無線機がリピータの圏外にある場合でも、通話範囲内にある他の無線機との通信を継続できます。

ダイレクトモード設定は、電源を切った後も保持されます。



注：

この機能は、同じ周波数の Capacity Plus-シングルサイト、Capacity Plus-マルチサイト、および Citizens Band チャンネルでは利用できません。

6.6.1.1

リピータとダイレクトモードの切り替え

下記の手順に従って、無線機でリピータとダイレクトモードを切り替えます。

プログラムされた【リピータ/トークアラウンド】ボタンを押します。

次のトーンのいずれかが鳴ります。

ポジティブ インジケータ トーン

無線機がダイレクトモードです。

ネガティブ インジケータ トーン

無線機がリピータモードです。

6.6.2

モニタ機能

この機能を使用すると、ターゲットの無線機のマイクをリモートで有効にできます。この機能を使用することで、ターゲットの無線機の周りのあらゆる音声アクティビティをモニタできます。



注：

この機能は、Capacity Plus-シングルサイトおよび Capacity Plus-マルチサイトでは利用できません。

6.6.2.1

チャンネルのモニタ

下記の手順に従って、チャンネルをモニタします。

- 1 プログラムされた【モニタ】ボタンを長押しします。
モニタするチャンネルにアクティビティが存在する場合は、無線機のアクティビティまたは"ホワイト ノイズ" が聞こえます。モニタするチャンネルが空いている場合は、完全に無音になります。

- 2 話すには、**PTT** ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

6.6.2.2

連続モニタ

連続モニタを使用して、選択したチャンネルのアクティビティを継続的にモニタできます。



注：
この機能は Capacity Plus では利用不可です。

6.6.2.2.1

連続モニタのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で連続モニタのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた【連続モニタ】ボタンを押します。

無線機が本モードに入ると：

- 警告トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点灯します。

無線機が本モードを終了すると：

- 警告トーンが鳴ります。
- 黄色の LED がオフになります。

6.6.3

ホーム チャンネル リマインダ

これは、無線機が一定期間ホーム チャンネルにセットされていない場合に通知を出す機能です。

CPS を使用してこの機能を有効にしている場合は、無線機がホーム チャンネルに設定されていないと、以下の動作が定期的に繰り返されます。

- ホームチャンネルリマインダートーンが鳴り、音声ガイドが聞こえます。

次のいずれかの操作を実行して、この通知に応答できます。

- ホームチャンネルに戻る。
- プログラム可能ボタンを使用して、通知を一時的にミュートする。
- プログラム可能ボタンを使用して、新しいホームチャンネルを設定する。

6.6.3.1

ホームチャンネルリマインダのミュート

ホームチャンネルリマインダが鳴った場合に、リマインダを一時的にミュートできます。

プログラムされたホームチャンネルリマインダのミュートボタンを押します。

6.6.3.2

新しいホームチャンネルの設定

ホームチャンネルリマインダが通知された場合は、新しいホームチャンネルをセットできます。

ホームチャンネルのリセットプログラム可能ボタンを押して、現在のチャンネルをホームチャンネルとしてセットします。

6.6.4

リモートモニタ

この機能を使用して、無線機のエイリアスまたはIDでターゲットの無線機のマイクをオンにします。この機能を使用することで、ターゲット無線機の周りのあらゆる音声アクティビティをリモートでモニタできます。

リモートモニタには2種類あります。

- 認証を使用しないリモートモニタ
- 認証を使用するリモートモニタ

認証を伴うリモートモニタは、購入可能な機能です。認証を伴うリモートモニタでは、無線機でターゲットの無線機のマイクをオンにする際に検証が必要です。

無線機で、ユーザー認証を使用してターゲットの無線機に対してこの機能を開始する場合、パズフレーズが必要です。パズフレーズは、CPSを使用して、ターゲットの無線機に事前にプログラムしておきます。

この機能を使用するには、お使いの無線機とターゲット無線機の両方をプログラムする必要があります。

この機能は、プログラムされた期間の経過後、または相手の無線機でユーザーが何らかの操作を実行したときに、停止します。

6.6.4.1

リモート モニタの開始

下記の手順に従って、無線機でリモート モニタを開始します。

1 プログラムされた【リモート モニタ】ボタンを押します。

2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
-

6.6.5

104

スキャン リスト

スキャン リストは、個別チャネルまたはグループに対して作成され、割り当てられます。無線機は、現在のチャネルまたはグループのスキャン リストで指定されたチャネルまたはグループ系列を循環して、音声アクティビティをスキャンします。

無線機では、最大 250 のスキャン リストを使用できます。リスト内の最大メンバー数は 16 です。

各スキャン リストには、アナログとデジタルの両方のエントリを混在させることができます。



注：
この機能は、Capacity Plus では利用できません。

6.6.6

スキャン

スキャンを開始すると、無線機は現在のチャネルのプログラム スキャン リストを循環して、音声アクティビティを検索します。



注：
この機能は、Capacity Plus では利用できません。

デジタル チャンネルをお使いの場合、デュアルモード スキャン中は、無線機はアナログ チャンネルにロックされます。通話中は、デジタル モードからアナログ モードに自動的に切り替わります。逆もまた同じです。

スキャンを開始するには 2 通りの方法があります。

メイン チャンネル スキャン (マニュアル)

無線機は、スキャン リストにあるすべてのチャンネルまたはグループをスキャンします。設定しだいで、自動的に、最後にスキャンしたアクティブなチャンネルまたはグループのスキャンから開始されることも、スキャンの開始時に使用していたチャンネルからスキャンが開始されることもあります。

自動スキャン (自動)

自動スキャンが有効になっているチャンネルまたはグループを選択すると、無線機が自動的にスキャンを開始します。

6.6.6.1

スキャンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でスキャンのオンとオフを切り替えます。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【スキャン】ボタンを押して、スキャンを開始または停止します。
- チャンネル セレクタ ノブを回して、スキャン リストがプログラムされているチャンネルを選択します。

6.6.6.2

スキャン中の送信への応答

スキャン中、無線機はアクティビティが検知されたチャンネルまたはグループで停止します。無線機は、ハング タイムと呼ばれるプログラムされた時間だけそのチャンネルに留まります。下記の手順に従って、スキャン中に送信に応答します。

- 1  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。ハング タイム中に **PTT** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

- 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

ハング タイム中に応答しないと、無線機は他のチャネルまたはグループのスキャンに戻ります。

6.6.6.3

迷惑チャネルの削除

チャネルで不要な通話やノイズ ("迷惑" チャネルと称する) が発生し続ける場合、その不要なチャネルをスキャン リストから一時的に削除できます。この機能は、選択チャネルとして指定されているチャネルには適用されません。下記の手順に従って、無線機で迷惑チャネルを削除します。

- 1 無線機が不要なチャネル、つまり迷惑チャネルにロックされているときに、プログラムされた **[迷惑チャネル削除]** ボタンをトーンが鳴るまで押します。
-

- 2 プログラムされた **[迷惑チャネル削除]** ボタンを放します。

迷惑チャネルが削除されます。

6.6.6.4

迷惑チャネルの復元

下記の手順に従って、無線機で迷惑チャネルを復元します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の電源を切り、もう一度電源を入れます。
 - プログラムされた **[スキャン]** ボタンを使用してスキャンを停止し、再開します。
 - チャネル セレクト ノブでチャネルを変更します。
-

6.6.7

投票スキャン



投票スキャン機能は、複数の基地局がさまざまなアナログチャンネルで同じ情報を送信している領域を幅広くカバーするための機能です。

無線機は、複数の基地局のアナログチャンネルをスキャンし、投票プロセスを実行して最大強度の受信信号を選択します。これがいったん確立されると、その基地局からの送信を受信します。

投票スキャン中は、黄色の LED が点滅します。

投票スキャン中に送信に応答するには、「[スキャン中の送信への応答 ページ 105](#)」を参照してください。

6.6.8

通信インジケータ設定

この機能を使用すると、通信やテキストメッセージの着信音を設定できます。

6.6.8.1

アラーム トーンの音量を上げる

ディーラーは、無線機通信に応答がない状態が続くと継続的に警告を発信するようにプログラムできます。時間が経つにつれて、アラーム トーンは自動的に大きくなります。この機能はステップ アラートとして知られています。

6.6.9

ページング操作

ページング機能を使用して、特定の無線機ユーザーに、かけ直すようアラートを送信できます。

この機能には、プログラムされた [ワン タッチ アクセス] ボタンを使用してアクセスできます。

6.6.9.1

ページングへの応答

ページングを受信した場合：

- 反復トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。

ページングのページを受信してから 4 秒以内に [PTT] ボタンを押して、個別通信に応答します。

6.6.9.2

ページングの発信

下記の手順に従って、無線機でページングを発信します。

- 1 プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。
緑色の LED が点灯します。

-
- 2 確認応答を待ちます。

ページング承認を受信した場合は、ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

ページング承認を受信していない場合は、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

6.6.10

ミュート モード

ミュート モードでは、無線機のすべての音声インジケータを無音にできます。

ミュート モードを開始すると、緊急操作などの優先度の高い機能を除くすべての音声インジケータがミュートされます。

ミュート モードを終了すると、無線機で、継続中のトーンおよび音声の再生が再開されます。



重要：

一度に有効にできるのは、フェイス ダウンかマン ダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。

6.6.10.1

ミュート モードの有効化

下記の手順に従って、ミュート モードを有効にします。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- この機能には、プログラムされた【ミュート モード】ボタンからアクセスします。
- 無線機の前面を 1 回だけ下に向けると、この機能にアクセスできます。

無線機のモデルによっては、フェイス ダウン機能はラジオ メニューを使用して有効にするか、システム

管理者が有効にします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。



重要：

一度に有効にできるのは、マンダウンとフェイス ダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。



注：

フェイス ダウン機能は、XiR E8608i のみに該当します。

ミュート モードを手動で終了するには、次のいずれかの操作を実行します。

- プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押します。
- 任意のエントリで **PTT** ボタンを押します。
- 無線機の前面を 1 回だけ上に向けます。



注：

フェイス ダウン機能は、XiR E8608i のみに該当します。

ミュート モードを有効にすると、次のことが発生します。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- 赤色の LED ライトの点滅が開始し、ミュート モードが終了するまで点滅したままになります。
- 無線機がミュートになります。
- ミュート モード タイマーが、設定された時間のカウンタ ダウンを開始します。

ミュート モードを無効にすると、次のことが発生します。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- 点滅する赤い LED が消灯します。
- 無線機のミュートが解除され、スピーカーが元の状態に戻ります。

6.6.10.2

ミュート モードの終了

この機能は、ミュート モード タイマーの時間が切れると、自動的に終了します。

- タイマーの時間が切れていない場合、ミュート モードタイマーが停止します。



注：

ユーザーが音声を送信した場合や、プログラムされていないチャンネルに切り替えた場合も、ミュート モードは終了します。

6.6.11

緊急操作

重大な状況を示すために、緊急アラームが使用されます。いつでも、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、緊急操作を開始できます。

ディーラーは、プログラムされた【緊急】ボタンの押し下げ時間を設定できます。ただし、他のボタンと同様、長押しは除きます。

短押し

0.05 ～ 0.75 秒の間

長押し

1.00 ～ 3.75 秒の間

緊急ボタンには、緊急のオン/オフ機能が割り当てられています。緊急ボタンに割り当てられている操作については、ディーラーに確認してください。



注：

緊急ボタンの短押しで緊急モードが開始される場合には、長押しで緊急モードが終了します。

緊急ボタンの長押しで緊急モードが開始される場合には、短押しで緊急モードが終了します。

お使いの無線機は、3 つの緊急アラームをサポートしています。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム 



注：

上記の緊急アラームのいずれか 1 つのみを、プログラムされた【緊急】ボタンに割り当てることができます。

また、各アラームには以下のタイプがあります。

レギュラー

無線機がアラーム信号を送信し、音声インジケータと視覚的インジケータのいずれかまたは両方で示されます。

サイレント

無線機がアラーム信号を送信しますが、音声インジケータも視覚的インジケータも示されません。無線機の

PTT ボタンを押すまで、スピーカから音が出ることなくコールを受信します。

音声付きサイレント

音声または視覚的インジケータなしにアラーム信号を送信しますが、着信通話の音はスピーカから聞こえません。

6.6.11.1

緊急アラームの受信

緊急アラームを受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。

トーンはミュートすることができます。以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 緊急アラームを受信した無線機グループを呼び出すには、**PTT** ボタンを押します。
- プログラム可能ボタンを押します。
- 緊急モードを終了します。



注:
無線は、緊急アラームを自動的に認識します (有効な場合)。

ホーム画面に戻るには、次の操作を実行します。

a  を押します。

b ▲ または ▼ を押して『はい』に移動します。

c  を押して選択します。

無線機がホーム画面に戻り、ディスプレイに [緊急] アイコンが表示されます。

6.6.11.2

緊急アラーム受信後の緊急モードの終了

緊急アラームの受信後に緊急モードを終了するには、次のいずれかの操作を実行します。

- チャンネルを変更します。
- 緊急オフ ボタンを押します。

- 無線機の電源を切ります。

6.6.11.3

緊急アラームの送信

この機能では、音声信号ではない緊急アラームを送信します。この機能を使用して、無線機グループにアラートを通知できます。お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中にオーディオや視覚的インジケータは一切表示されません。

下記の手順に従って、無線機で緊急アラームを送信します。

- 1 プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。



注：

プログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。緊急検索トーンは CPS を使ってプログラムできます。

- 2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合：

- 緊急トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。

再試行がすべて失敗して処理が正常に行われなかった場合：

- 低いトーンが鳴ります。

無線機が緊急アラーム モードを終了します。

6.6.11.4

通話による緊急アラームの送信

この機能では、通話による緊急アラームを無線機グループに送信します。グループ内の無線機から確認応答がある場合、無線機グループは、プログラムされた緊急チャンネルで通信できます。

下記の手順に従って、無線機で通話による緊急アラームを送信します。

1 プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。



注：

プログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。緊急検索トーンは、ディーラーまたはシステム管理者がプログラムできます。

2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合：

- 緊急トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。

3 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  PTT サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

5 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

6 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

7 通話を終えた後に緊急モードを終了するには、緊急オフ ボタンを押します。

緊急オフ ボタンを押して緊急モードを終了しないと、赤色の LED が点滅し、無線機は緊急モードのままになります。

6.6.11.5

音声ガイドおよび緊急アラーム

この機能では、緊急アラームと音声ガイドを無線機グループに送信します。無線機のマイクは自動的に有効になり、**PTT** ボタンを押さずに無線機グループと通信できます。このアクティブな状態のマイクを "ホット マイク" と呼びます。

緊急サイクル モードが有効な場合、プログラムされた期間、"ホット マイク" と受信期間が繰り返されます。緊急サイクル モードでは、受信コールの音はスピーカから聞こえます。

プログラムされた受信期間に **PTT** ボタンを押すと、通話禁止音が聞こえます。これは、**PTT** ボタンを放す必要があることを示します。**PTT** ボタンが押されたことは無視され、緊急モードが保たれます。

ホット マイク が有効なときに [**PTT**] ボタンを押し、ホット マイク の期限が切れた後もそのまま押し続けていた場合は、[**PTT**] ボタンを放すまで無線機は送信を続けます。

緊急アラームのリクエストに失敗すると、無線機はそのリクエストを再送信せず、直接 "ホット マイク" 状態に入ります。



注：

"ホット マイク" を使用できないアクセサリもあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.6.11.6

緊急アラームと音声ガイドの送信

- 1 プログラムされた [緊急オン] ボタンを押します。
緑色の LED が点灯します。

- 2 緊急トーンが鳴ったら、マイクに向かってはっきりと話します。

次の場合、無線機は自動的に送信を終了します。

- 緊急サイクル モードが有効で、ホット マイクと通話受信のサイクルの期限が切れた場合。
- 緊急サイクル モードが無効で、ホット マイクの期限が切れた場合。

- 3 緊急オフ ボタンを押して、緊急モードを終了します。
無線機はホーム画面に戻ります。

6.6.11.7

緊急モードの再開

下記の操作のどちらかを実行します。

- 無線機が緊急モードの間に、チャンネルを変更します。



注：

新しいチャンネルで緊急アラームを有効にした場合にのみ、緊急モードを再開できます。

- 緊急の起動または転送ステータス時に、プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

無線機は緊急モードを終了し、再び緊急モードになります。

6.6.11.8

緊急アラーム送信後の緊急モードの終了

この機能は、緊急アラームを送信する無線機にのみ適用されます。

次の場合に無線機の緊急モードが終了します。

- 承認を受信した場合 (緊急アラームの場合のみ)。
-  緊急終了テレグラムを受信した場合。
- アラームを送信するすべての再試行が失敗した場合。
- 確認応答を受信した後でも無線機が緊急復帰チャンネルにプログラムされたままになっている場合は、無線機の電源を切り、もう一度電源を入れます。



注：

無線機の電源を切ると、緊急モードは終了します。もう一度電源を入れたときに、無線機が自動的に緊急モードを再開することはありません。

下記の手順に従って、無線機の緊急モードを終了します。

プログラムされた【緊急オフ】ボタンを押します。

6.6.12

マン ダウン



注：

マンダウン機能は、XiR E8608i にのみ適用されます。

この機能は、事前に定義された期間に、無線機の傾きや動きの有無など無線機の動きに変化があると、緊急アラームを発します。

プログラムされた期間内に、無線機の動きに変化があると、動きの変化の検出を示す音声インジケータで無線機からユーザーに最初の警告が発せられます。

事前に定義された通知タイマの時間が経過してもユーザーから確認応答がない場合、無線機は緊急アラームか緊急通話を発します。このリマインダは CPS を使用してプログラムできます。

6.6.12.1

マンダウン機能のオンとオフの切り替え



注：

プログラムされた【マンダウン】ボタンと【マンダウン】設定は、CPS を使用して構成されます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

マンダウン機能を無効にすると、有効にするまでプログラムされた警告トーンが繰り返し鳴ります。電源投入時にマンダウン機能に障害があると、デバイス障害トーンが鳴ります。デバイス障害トーンは、無線機が通常動作に戻るまで続きます。

次の方法で、この機能を有効または無効にできます。

- プログラムされた【マンダウン】ボタンを押して、この機能のオンとオフを切り替えます。

6.6.13

プ ライ バシ

この機能は、ソフトウェアベースのスクランブル ソリューションの使用により、不正なユーザーによる盗聴を防ぐの

に役立ちます。送信のシグナリングおよびユーザー識別の部分はスクランブルされません。

秘話モード対応で送信するには、無線機のチャンネルに秘話モードを設定する必要があります。ただし、秘話モードを設定していなくても受信はできます。秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな送信、つまりスクランブルされていない送信を引き続き受信できます。

無線機のモデルによっては、秘話モード機能がない場合や、構成が異なる場合があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

お使いの無線機では、拡張プライバシのみを使用できます。この機能を使用するには、ソフトウェアのライセンス キーを別途購入する必要があります。

秘話対応の通話またはデータ送信のスクランブルを解除するには、送信側の無線機と同じキー値およびキー ID を無線機にプログラムする必要があります。

無線機が別のキー値およびキー ID によるスクランブル通話を受信すると、何も聞こえません。

無線機のプログラム方法に応じて、秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな通話、つまりスクランブルされていない通話を受信できます。さらに、無線機のプログラム方法に応じて、警告音を鳴らすことも鳴らさないこともできます。

無線機が送信しているとは、緑色の LED が点灯します。無線機が進行中の秘話対応通話を受信しているときは、LED が素早く点滅します。

6.6.13.1

秘話モードのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で秘話モードのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた【ひわモード】ボタンを押します。

6.6.14

応答禁止

この機能を使用すると、無線機が着信通信に応答しないようにすることができます。



注：

無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

有効にすると、無線機は着信通信に응答して送信通信を生成しません(無線機チェック、ページング、無線停止、リモート モニタ、自動登録サービス (ARS)、プライベート メッセージへの応答など)。

この機能が有効になっていると、無線機は個別通信の確認を受信できません。ただし、無線機で手動による送信を行うことはできます。

6.6.14.1

応答禁止の有効化または無効化

無線機の応答禁止を有効または無効にするには、次の手順に従います。

プログラムされた【おうとうきんし】ボタンを押します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

6.6.15

複数サイト コントロール



無線機は、現在のサイトからの信号が弱い場合や、無線機が現在のサイトからの信号をまったく検出できない場合は、サイトを検索してサイト間を切り替えられます。

信号が強ければ、無線機は現在のサイトに留まります。

この設定は、現在の無線機チャンネルが IP Site Connect または Capacity Plus–Multi-Site 設定に含まれている場合に適用されます。

無線機では、次のいずれかのサイト検索を実行できます。

- 自動サイト検索
- 手動サイト検索

現在のチャンネルがローミング リスト付きの複数サイト チャンネルで、通信範囲外であり、サイトがロック解除されている場合、無線機もまた自動サイト検索を実行します。

6.6.15.1

手動サイト検索の有効化

プログラムされた【手動ローミング】ボタンを押します。

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。

無線機が新しいサイトを見つけると、無線機には次のような通知が表示されます。

- ポジティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。

無線機が新しいサイトを見つけられない場合、無線機には次のような通知が表示されます。

- ネガティブ トーンが鳴ります。
- LED が消灯します。

6.6.15.2

サイト ロック オン/オフ

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

プログラムされた【サイト ロック】ボタンを押します。

【サイト ロック】機能をオンに切り替えると、

- ポジティブ インジケータ トーンが聞こえて、無線機が現在のサイトにロックされていることを示しています。

【サイト ロック】機能をオフに切り替えると、

- ネガティブ インジケータ トーンが聞こえます。無線機のロックが解除されていることを示しています。
-

6.6.16

ローン ワーカー

この機能を使用すると、事前に定義した期間中にユーザー操作（無線機のボタンの押下やチャンネル選択など）がない場合に、緊急アラームを発生させることができます。

プログラムされた期間にユーザーによる操作がなく、無操作タイマーの時間が経過すると、無線機は音声インジケータでユーザーに最初の警告を発します。

事前に定義した通知タイマーの時間が経過しても確認応答がない場合に、無線機から緊急アラームが発せられます。

この機能には、下記の緊急アラームのいずれか 1 つのみが割り当てられます。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム 

無線機は、緊急状態のままとなり、操作が行われるまで音声メッセージの送信が継続します。緊急状態の終了方法の詳細については、「[緊急操作 ページ 110](#)」を参照してください。



注：
詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.6.17

パスワード ロック

パスワードを設定して、無線機へのアクセスを制限できます。無線機の電源を入れるたびに、パスワードを入力するように求められます。

無線機では、4 桁のパスワード入力を使用できます。

これらのボタンは、パスワードを入力するときに数字キーパッドとして機能します。

チャンネル セレクタ ノブ

ポジション 1～9: 数値 1～9

ポジション 10: 数値 10

サイド ボタン

サイド ボタン 1 および 2: 数値 1 および 2。

ロック状態の無線機は、通信を受信できません。

6.6.17.1

パスワードを使用した無線機へのアクセス

無線機の電源を入れます。

- 1 4桁のパスワードを入力します。
 - a パスワードの最初の数値を入力するには、チャンネルセレクト ノブ を使用します。
 - b パスワードの残りの3桁の各数値を入力するには、サイド ボタン 1 または 2 を押します。

-
- 2 パスワードの最後の桁の数値を入力すると、無線機はパスワードの有効性を自動的にチェックします。
-

パスワードを正しく入力すると、無線機の電源が入ります。

1回目と2回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴り続けます。

ステップ 1 を繰り返します。

3回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が 2 回点滅します。
- 無線機は 15 分間ロック状態になります。

ロック状態の 15 分タイマーが終了するのを待ってから、**ステップ 1** を繰り返します。



注：
無線機の電源を切ってから再度入れると、15 分タイマーが再起動します。

6.6.17.2

ロック状態の無線機をロック解除する

ロック状態の無線機は、コールを受信できません。下記の手順に従って、ロック状態の無線機をロック解除します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 無線機の電源がオンになっている場合には、15 分待ってから **パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 73** の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。
- 無線機の電源がオフになっている場合には、無線機の電源をオンにします。ロック状態の 15 分タイマーが再起動されます。
トーンが鳴ります。黄色の LED が 2 回点滅します。

15 分待ってから [パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 73](#) の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。

6.6.18

Bluetooth®

Bluetooth 接続を介して、お使いの無線機と Bluetooth 対応デバイス (アクセサリ) を連携できます。お使いの無線機では、Motorola Solutions 製および COTS (市販既製品) の両方の Bluetooth 対応デバイスをサポートしています。

Bluetooth は、直線距離 10 メートル (32 フィート) の範囲内で動作します。これは、無線機と Bluetooth 対応デバイスとの間に障害物が何もない場合の距離です。信頼性を高めるために、Motorola Solutions では無線機とアクセサリを離さないことをお勧めします。

受信不良地域では、音声とトーン両方が「不明瞭」または「割れて」聞こえるようになります。この問題を解決するには、無線機と Bluetooth 対応デバイスを規定の 10 メートル以内に近づけて、明瞭な音声受信を再確立してください。無線機の Bluetooth 機能の最大出力は、10 メートル範囲で 2.5mW (4dBm) です。

無線機は、異なる種類の Bluetooth 対応デバイスとの Bluetooth 接続を同時に 3 接続までサポートできます。た

例えば、ヘッドセット、スキャナ、センサー デバイス、および PTT 専用デバイス (POD) です。

Bluetooth 対応デバイスの全機能の詳細については、個々の Bluetooth 対応デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

無線機は、通信範囲内で信号強度が最も強い、または前のセッションで接続していた Bluetooth 対応デバイスに接続します。サーチ動作中および接続動作中は、Bluetooth 対応デバイスの電源を切ったり、[ホームへ戻る] ボタンを押したりしないでください。動作が取り消されます。

6.6.18.1

Bluetooth デバイスへの接続

下記の手順に従って、Bluetooth デバイスに接続します。

Bluetooth 対応デバイスの電源を入れ、ペアリング モードにします。

プログラムされた **[Bluetooth 接続]** ボタンを押します。

ペアリングを完成させるには、Bluetooth 対応デバイスでさらに手順が必要になることがあります。

Bluetooth 対応デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。

- トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。

確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

6.6.18.2

Bluetooth デバイスからの切断

下記の手順に従って、Bluetooth デバイスから切断します。

プログラムされた **[Bluetooth 切断]** ボタンを押します。

デバイスが切断されると、ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

6.6.18.3

内部無線機スピーカと Bluetooth デバイスの間のオーディオ ルートの切り替え

下記の手順に従って、内部無線機スピーカと外部 Bluetooth デバイスの間でオーディオ ルートを切り替えます。

プログラムされた **[Bluetooth オーディオ切り替え]** ボタンを押します。

オーディオ ルートが切り替わると、トーンが鳴ります。

6.6.19

オートレンジ トランスポンダ システム



オートレンジ トランスポンダ システム (ARTS) はアナログのみの機能で、無線機が ARTS を搭載した他の無線機の通信圏外にあるときに通知するように設計されています。

ARTS を搭載した無線機は、定期的に信号の送受信を行って、互いに通信圏内にあることを確認します。

無線機は、次のようなステータスを示します。

初回警告

トーンが鳴ります。

ARTS 通信圏内警告

プログラムされている場合はトーンが鳴ります。

ARTS 通信圏外警告

トーンが鳴ります。赤色の LED が素早く点滅します。



注：

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.6.20

エア接続プログラミング

ディーラーは、物理的に接続せずにエア接続プログラミング (OTAP) 経由で無線機をリモートから更新できます。さらに、一部の設定も OTAP から設定できます。

無線機が OTAP を実行中のときは、緑色の LED が点滅します。

大量データを受信した場合：

- チャネルがビジー状態になります。
- **PTT** ボタンを押すと、ネガティブ トーンが鳴ります。

プログラミングの更新が完了すると、トーンが鳴り、無線機が再起動します (電源がオフになり、再びオンになります)。

プログラミングの更新に失敗すると、トーンが鳴り、赤色の LED が 1 回点滅します。



注：

プログラミングの更新に失敗した場合は、無線機の電源をオンにするたびに、ソフトウェア更新に失敗したことを示すメッセージが表示されます。ソフトウェア更新失敗の表示を消去するために、最新のソフトウェアを使用して無線機を再プログラムするには、販売店にお問い合わせください。

6.6.21

Wi-Fi 操作

この機能で、Wi-Fi ネットワークをセットアップして接続できます。Wi-Fi は、無線機のファームウェア、コードプラグ、言語パックや音声ガイドなどのリソースの更新をサポートします。



注：

この機能は、XiR E8608i にのみ適用されます。

Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

お使いの無線機は、WEP/WPA/WPA2 パーソナル Wi-Fi および WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi のネットワークに対応しています。

WEP/WPA/WPA2 パーソナル Wi-Fi ネットワーク

事前共有キー (パスワード) ベースの認証を使用します。

事前共有キーは、メニューまたは CPS/RM を使用して入力できます。

WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi ネットワーク

証明書ベースの認証を使用します。

無線機を証明書使って事前設定しておく必要があります。



注：

WPA/WPA2 エンタープライズ Wi-Fi ネットワークへの接続については、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンがディーラーまたはシステム管理者により割り当てられます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンの音声ガイドは、ユーザーの要件に応じて、CPS を使用してカスタマイズ

できます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.6.21.1

Wi-Fi のオン/オフの切り替え

プログラムされた **[Wi-Fi オン/オフ]** ボタンを押します。Wi-Fi のオンまたは Wi-Fi のオフの音声ガイドが聴こえます。

6.6.21.2

ネットワーク アクセス ポイントへの接続

Wi-Fi をオンにすると、無線がネットワーク アクセス ポイントに接続します。



注：

プログラムされた **[Wi-Fi ステータス照会]** ボタンがディーラーまたはシステム管理者によって割り当てられます。プログラムされた **Wi-Fi** ステータス照会ボタンの音声ガイドは、ユーザーの要件に応じて、CPS を使用してカスタマイズできます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

WPA エンタープライズ Wi-Fi ネットワークのアクセス ポイントは、事前に設定されています。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

プログラムされた **Wi-Fi** ステータス照会 ボタンを押し、音声ガイドで接続ステータスを確認します。

Wi-Fi がオフ、Wi-Fi がオンで接続なし、または Wi-Fi がオンで接続ありの場合、音声ガイドが流れます。

6.7

ユーティリティ

この章では、無線機で利用できるユーティリティ機能の操作について説明します。

6.7.1

スケルチ レベル

信号強度が低い不要な通信や、通常の背景雑音よりも強い雑音があるチャネルを取り除くために、スケルチ レベルを調整できます。

通常

これはデフォルト設定です。

■■■■■□

この設定では、不要な通信や背景雑音が取り除かれず、遠隔地からの通信も取り除かれる可能性があります。

6.7.1.1

スケルチ レベルの設定

下記の手順に従って、無線機でスケルチ レベルを設定します。

プログラムされた【スケルチ】ボタンを押します。

次のトーンのいずれかが鳴ります。

ポジティブ インジケータ トーン

無線機は嚴重スケルチで動作しています。

ネガティブ インジケータ トーン

無線機は標準スケルチで動作しています。

6.7.2.1

パワー レベルの設定

下記の手順に従って、無線機で出力レベルを設定します。

プログラムされた **[Pow Level]** ボタンを押します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- 無線機は低出力で送信しています。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- 無線機は高出力で送信しています。

6.7.2

出力レベル

各チャネルの出力設定の高低をカスタマイズできます。

つよめ

この設定では、かなり離れた場所にある無線機とも交信できるようになります。

少ない

この設定では、近い場所にある無線機と交信できます。

6.7.3

音声起動送信

音声起動送信 (VOX) により、プログラムされたチャネルでハンズフリーの音声通話を開始できます。VOX 対応アクセ

サリのマイクが音声を検出すると、プログラムされた期間中、無線機は自動的に送信します。

次のいずれかの方法で、VOX を有効または無効にすることができます。

- 無線機の電源を切り、もう一度電源を入れて VOX を有効にします。
- チャンネル セレクタ ノブを使用してチャンネルを変更し、VOX を有効にします。
- プログラムされた **[VOX]** ボタンを使用して VOX のオンとオフを切り替えます。
- 無線機の動作中に **PTT** ボタンを押すと、VOX は無効になります。



注：

この機能のオンとオフの切り替えは、この機能に対応している無線機に限られます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

6.7.3.1

音声起動送信のオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で音声起動送信 (VOX) のオンとオフを切り替えます。

プログラムされた **[VOX]** ボタンを押して、この機能のオンとオフを切り替えます。

6.7.4

ハウリング抑制機能のオンとオフの切り替え

この機能により、受信コールでのハウリングを最小限に抑えることができます。下記の手順に従って、ハウリング抑制機能のオンとオフを切り替えます。

プログラムされた **[ハウリング抑制]** ボタンを押します。

次のトーンのいずれかが鳴ります。

ポジティブ インジケータ トーン

ハウリング抑制機能が有効です。

ネガティブ インジケータ トーン

ハウリング抑制機能が無効です。

6.7.5

無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え

着信緊急警告トーン以外の、すべての無線機トーンやアラートは、必要に応じて有効化および無効化できます。下記の手順に従って、無線機でトーン/アラートのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた【全トーン/アラート】ボタンを押します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- トーンおよびアラートがすべてオンになります。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- トーンおよびアラートがすべてオフになります。

バッテリー強度の確認

下記の手順に従って、バッテリー強度を確認します。

プログラムされた【バッテリー強度】ボタンを押します。

下記のいずれかの状態になります。

- LED が黄色に点灯し、バッテリー容量が一定量あることを示します。
- LED が緑色に点灯し、バッテリーが完全に充電されていることを示します。
- LED が赤色に点滅し、低バッテリー状態であることを示します。

6.7.7

音声ガイドのオンとオフの切り替え

この機能をオンにすると、ユーザーがゾーンとチャンネルを割り当てたときや、ユーザーがプログラム可能ボタンを押したときに、その内容を音声で知らせます。

6.7.6

この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。下記の手順に従って、無線機で音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた【音声ガイド】ボタンを押します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- トーンおよびアラートはすべてオンです。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- トーンおよびアラートはすべてオフです。

6.7.8

音声変換のオンとオフの切り替え

この機能を使用すると、無線機で最近受信したテキストメッセージのコンテンツを音声で知らせることができます。下記の手順に従って、無線機の音声変換のオンとオフを切り替えます。

この機能は、音声ガイド機能に基づいた機能ではありません。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

プログラムされた【音声変換】ボタンを押します。

6.7.9

内部無線機スピーカと有線アクセサリ の間のオーディオ ルートの切り替え

下記の手順に従って、内部無線機スピーカと有線アクセサリの間でオーディオ ルーティングを切り替えます。

次の条件を満たすとき、内部無線機スピーカと有線アクセサリのスピーカの間でオーディオ ルーティングを切り替えることができます。

- スピーカ付き有線アクセサリが接続されています。
- オーディオは、外部 Bluetooth アクセサリにルーティングされていません。

プログラムされた【音声切替】ボタンを押します。

オーディオ ルートが切り替わると、トーンが鳴ります。

無線機の電源を切るかアクセサリを取り外すと内部無線機スピーカへのオーディオルーティングがリセットされます。

6.7.10

トリル拡張のオンとオフの切り替え

歯茎でのトリル音 (転がるような "R") の単語を多用する言語で話しているとき、この機能を有効にできます。下記の手順に従って、無線機でトリル拡張のオンとオフを切り替えます。

プログラムされた【トリル拡張】ボタンを押して、この機能のオンとオフを切り替えます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- トーンおよびアラートはすべてオンです。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- トーンおよびアラートはすべてオフです。

6.7.11

GNSS のオンとオフの切り替え

グローバル ナビゲーション サテライト システム (GNSS) は、無線機の正確な位置を測定する衛星ナビゲーション システムです。GNSS には、グローバル ポジショニング システム (GPS)、グローバル ナビゲーション サテライト システム (GLONASS)、北斗衛星導航系統 (BDS) が含まれます。



注:

選択した無線機のモデルが GPS、GLONASS、および BDS を備えていることがあります。GNSS で使用する衛星群は CPS を使用して構成されています。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

プログラムされた **[GNSS]** ボタンを押して、この機能のオンとオフを切り替えます。

6.7.12

フレックス **RX** リストのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、フレックス **RX** リストのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた [フレックス **RX** リスト] ボタンを押します。

有効な場合:

- LED が黄色で点滅します。
- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

無効な場合:

- LED がオフになります。
- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

インテリジェント オーディオのオンとオフの切り替え

定常騒音源と非定常騒音源の両方を含む、周辺環境の背景雑音が大きい場合、それに負けないように音量を自動的に調整します。これは受信側の限定機能であり、送信音声は影響を受けません。下記の手順に従って、無線機でインテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた [Int オーディオ] ボタンを押します。



注:

この機能は、Bluetooth セッションでは使用できません。

6.7.13

認定アクセサリ リスト

Motorola Solutions では、無線機の生産性を向上させる次の承認済みアクセサリをご用意しています。

表 2: アンテナ

部品番号	説明
PMAD4119_	VHF、136 ～ 148MHz、スタビー アンテナ
PMAD4120__	VHF、146 ～ 160MHz、スタビー アンテナ
PMAD4121	VHF、160 ～ 174MHz、スタビー アンテナ
PMAE4069_	UHF、403 ～ 450MHz、スタビー アンテナ
PMAE4070_	UHF、440 ～ 490MHz、スタビー アンテナ

部品番号	説明
PMAE4071_	UHF、470 ～ 527MHz、スタビー アンテナ

表 3: バッテリー

部品番号	説明
HKVN4036_	IMPRES バッテリー フリート管理ライセンス キー
NNTN7392_	IMPRES バッテリー リーダー
PMNN4440_	Li-Ion、1700mAh IP68 バッテリー
PMNN4502_	IMPRES Li-Ion、3000mAh IP68 バッテリー ^{5,6}
PMNN4511_	IMPRES Li-Ion 低電圧、2900mAh TIA 4950 IP68 バッテリー ^{5,6}

⁵ IMPRES 充電器を使用して IMPRES バッテリーを充電し、バッテリー性能を最適化します。

⁶ お使いの無線機に IMPRES バッテリーが取り付けられている場合、その無線機は IMPRES 充電器にのみ対応します。

表 4 : ケーブル

部品番号	説明
PMKN4115_	プログラミング ケーブル USB
PMKN4116_	DB25 および TTR 用プログラミング ケーブル スリム コネクタ
PMKN4117_	DB25 および USB プラグ用プログラミング ケーブル スリム コネクタ

表 5 : キャリー デバイス

部品番号	説明
PMLN7536_	ディスプレイおよびノンディスプレイ無線機用 3 インチ人工皮革製固定ベルト ループ付き標準バッテリー用
PMLN7537_	ディスプレイおよびノンディスプレイ無線機用 3 インチ人工皮革製固定ベルト ループ付き大容量バッテリー用
PMLN7559_	ベルト クリップ付きプラスチック製キャリー ホルダー

表 6 : 充電器

部品番号	説明
HTN9000_	Core シングルユニット充電器、台のみ
JMTN4011_	デジジー チェーン充電器
MDHTN9000_	Core シングルユニット充電器、台のみ
NNTN7677_	IMPRES バッテリー フリート管理マルチユニット充電器インタフェースユニット
NNTN8045_	IMPRES バッテリー フリート管理シングルユニット充電器インタフェースユニット
PMLN5010_	GP プロフェッショナル シリーズマルチユニット充電器用インサート
PMLN5199_	IMPRES モード切り替え電源付きシングルユニット充電器、オーストラリア/ニュージーランド
PMLN6669_	MOTOTRBO シリーズ マルチユニット充電器用インサート

部品番号	説明
WPLN4145_	IMPRES ディスプレイ付きマルチユニット充電器、韓国プラグ ⁷
WPLN4146_	IMPRES マルチユニット充電器、韓国プラグ ⁷
WPLN4195_	ディスプレイ付きマルチユニット充電器、オーストラリア/ニュージーランド プラグ ⁷
WPLN4198_	ディスプレイ付きマルチユニット充電器、電源コードなし ⁷
WPLN4199_	IMPRES シングルユニット充電器、電源なし
WPLN4204_	マルチユニット充電器、ディスプレイ付き、米国プラグ ⁷
WPLN4211_	IMPRES マルチユニット充電器、台のみ ⁸
WPLN4215_	IMPRES マルチユニット充電器、豪州プラグ ⁸

⁷ アクセサリが無線機に接続されている場合は、充電時に充電器用インサート PMLN5010_ を使用します。

⁸ 充電時は充電器用インサート PMLN6669_ を使用します。

部品番号	説明
WPLN4217_	IMPRES マルチユニット充電器、韓国プラグ ⁸
WPLN4222_	IMPRES ディスプレイ付きマルチユニット充電器、豪州プラグ ⁸
WPLN4224_	IMPRES ディスプレイ付きマルチユニット充電器、韓国プラグ ⁸



注：
バッテリーに適した充電器のみを使用してください。

表 7：小型イヤホンとイヤピース

部品番号	説明
AARLN4885_	受信限定カバー付きコイルコード型イヤホン、リモート スピーカマイク用
NTN2575_	9 インチ ケーブル付きイヤピース (Bluetooth POD 用)

部品番号	説明
NTN8821_	ワイヤレス イヤピース メンテナンス キット
NTN8988_	CommPort イヤピース用イヤ ストラップ (耳への安全な装着)、10 個パック
NNTN8294_	シングルワイヤ イヤホン、29cm コード、黒
NNTN8295_	シングルワイヤ イヤホン、116cm コード、黒
NNTN8296_	2 線式イヤホン 2 セット (白黒各 1 セット)、1 線式イヤホン (黒)、市販のヘッドホン用 3.5mm アダプタを含むワイヤレス ステルス キット
NNTN8316_	ワイヤレス イヤ バッド用交換イヤ チップ キット
NNTN8385_	着用が目立たないキット用ワイヤレス ネックループ Y 字型アダプタおよび保持フック
PMLN4620_	リモート スピーカ マイク用 D シェル受信限定イヤピース (1 サイズ)

部品番号	説明
PMLN5727_	イヤピース インライン マイク/PTT スイベル、MagOne
PMLN5733_	インライン マイク/PTT 付きイヤホン、MagOne
PMLN6462_	非セキュア ワイヤレス アクセサリ キット
PMLN6757_	インライン マイクおよび PTT 付き調節可能 D スタイル
PMLN7181_	ブーム マイク付きフレキシブル フィット スイベル イヤピース
PMLN7203_	ブーム マイク付きフレキシブル フィット スイベル イヤピース、マルチパック
RLN4922_	着用が目立たないイヤピース キット
RLN4941_	リモート スピーカ マイク用透明チューブおよびゴム製耳栓付き受信限定イヤピース

部品番号	説明
RLN5037_	CommPort イヤピース用交換イヤチューブ、10 個パック
RLN6511_	クリア EP7-小型聴覚保護具 [ソニック ディフェンダー] ウルトラ イヤ プラグ、ノイズ抑制、28dB
RLN6512_	クリア EP7-中型聴覚保護具 [ソニック ディフェンダー] ウルトラ イヤ プラグ、ノイズ抑制、28dB
RLN6513_	クリア EP7-大型聴覚保護具 [ソニック ディフェンダー] ウルトラ イヤ プラグ、ノイズ抑制、28dB
RLN6550_	Bluetooth アクセサリ キット ポッド用インライン マイク付きスイベル イヤピース、3 個パック
WADN4190_	リモート スピーカ マイク用受信限定フレキシブル イヤピース

表 8：ヘッドセットとヘッドセット アクセサリ

部品番号	説明
NTN2572_	イヤピース 12 インチ ケーブル、NNTN8125_ の交換用
NTN2575_	イヤピース 9.5 インチ ケーブル、NNTN8126_ の交換用
NNTN8127_	非セキュア ワイヤレス プッシュトゥーク デバイス
NNTN8143_	非セキュア ワイヤレス プッシュトゥーク デバイス (NNTN8125_ および NNTN8126_ 用)
NNTN8191_	プッシュトゥーク モジュール、充電器なし
PMLN5731_	ヘビー デューティ ヘッドセット、インライン PTT によるノイズ キャンセリング
PMLN5732_	ブーム マイク付きイヤセット、MagOne

部品番号	説明
PMLN6428_	非セキュア ワイヤレス アクセサリ キット (PMLN6462_) 用充電クレ ドル
PMLN6759_	テンプル トランスデューサ
PMLN6760_	次世代ビハインド ザ ヘッド ヘビー デューティ ヘッドセット、スリム
PMLN6761_	超軽量ヘッドセット、MagOne
PMLN6763_	次世代ビハインド ザ ヘッド ヘビー デューティ ヘッドセット、スリム TIA 4950
PMPN4007_	Micro USB 充電器、オーストラリア/ ニュージーランド プラグ
PMPN4008_	Micro USB 充電器、中国プラグ
PMPN4015_	Micro USB 充電器、韓国プラグ
RLN6490_	XBT ネックバンド型、非セキュア ワ イヤレス ヘビー デューティ ヘッド セット

部品番号	説明
RLN6491_	XBT オーバーヘッド、非セキュア ワ イヤレス ヘビー デューティ ヘッド セット
SPN5334_	交換用 Micro-USB プラグイン充電 器

表 9 : リモート スピーカ マイク

部品番号	説明
PMMN4071_	IMPRES リモート スピーカ マイク 大、3.5mm ジャックによるノイズ キャンセリング
PMMN4073_	IMPRES リモート スピーカ マイク 小、3.5mm ジャック付き
PMMN4075_	リモート スピーカ マイク小、緊急ボ タンなし、IP57
PMMN4076_	リモート スピーカ マイク小、 3.5mm ジャック付き
PMMN4096_	オペレーション クリティカル ワイ ヤレス リモート スピーカ マイク

表 10 : 監視アクセサリ

部品番号	説明
PMLN5724_	2 線式監視キット、黒
PMLN5726_	2 線式監視キット、ベージュ
PMLN6754_	クイック切断アダプタおよびクリアな音響管付き 3 線式監視キット、黒
PMLN6755_	クイック切断アダプタおよびクリアな音響管付き 3 線式監視キット、ベージュ
PMLN7052_	透明チューブ付きオペレーションクリティカル ワイヤレス 1 線式監視キット
PMLN7269_	クイック切断アダプタおよびクリアな音響管付き 2 線式監視キット、黒
PMLN7270_	クイック切断アダプタおよびクリアな音響管付き 2 線式監視キット、ベージュ

表 11 : その他のアクセサリ

部品番号	説明
0104058J40	ダスト カバー

www.motorolasolutions.com/mototrbo

Motorola Solutions Malaysia Sdn. Bhd.
Plot 2A, Medan Bayan Lepas,
Mukim 12, S.W.D.
11900 Bayan Lepas, Penang,
Malaysia.

无线电发射设备型号核准代码会在设备标签上注明。

MOTOROLA, MOTO, MOTOROLA SOLUTIONS and the Stylized M Logo are trademarks or registered trademarks of Motorola Trademark Holdings, LLC and are used under license. All other trademarks are the property of their respective owners. © 2013 and 2022 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.

